

第4回新宿区協働支援会議 次第

令和元年5月22日(水)午後2時00分
新宿NPO協働推進センター4階401A会議室

1 開会

2 議事

(1) 一般事業助成公開プレゼンテーション団体へ質問事項の検討
(4階 401A会議室)

(2) 一般事業助成公開プレゼンテーションの実施(5階 501会議室)

(3) 一般事業助成団体及び助成額の決定(4階 401A会議室)

3 プレゼンテーション団体へ質問事項の検討(14:00~14:20)

4 プレゼンテーション実施(14:30~16:13)

5 支援会議再開(16:40~17:00)

一般事業助成団体及び助成額の審議及び決定

6 次回開催について

第5回協働支援会議(協働事業評価)

令和元年6月25日(火) 午後2時~午後4時

(区役所本庁舎6階 第4委員会室)

※協働事業提案事業視察

令和元年6月12日(水) 午後3時~午後4時

(四谷地域センター)

7 閉会

配付資料

[資料1] 一般事業助成公開プレゼンテーション タイムスケジュール表

[資料2] 一般事業助成 一次審査結果一覧(審査に係る資料の为非公開)

[資料3] 一般事業助成採点表(最終選考)

[資料4] 一般事業助成・プレゼンテーション質問票(審査に係る資料の为非公開)

[資料5] 各団体プレゼンテーション資料

[資料6] 一般事業助成公開プレゼンテーション プログラム
(冊子・プレゼンテーション説明資料)

令和元年度一般事業助成 公開プレゼンテーション(二次審査)
タイムスケジュール表

資料1

項目	スケジュール			団体名
	開始	～	終了	
協働支援会議委員集合 (質問内容調整等)	14:00	～	14:30	
開会	14:30	～	14:35	
座長あいさつ・ 委員紹介	14:35	～	14:45	
プレゼン説明	14:45	～	14:50	
プレゼン①	14:50	～	15:10	新宿傾聴しおりの会
プレゼン②	15:11	～	15:31	みんなのリビング
プレゼン③	15:32	～	15:52	えんがわ家族
プレゼン④	15:53	～	16:13	あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
集計	16:13	～	16:40	
助成団体決定	16:40	～	17:00	

プレゼン予定時間 各21分 (プレゼン10・質問10・間1)

令和元年度一般事業助成採点表(二次審査・公開プレゼンテーション)

審査員			評価	A	B	C	D	E
			評価の目安	大いに認められる	認められる	どちらかといえば認められる	どちらかといえば認められない	認められない
			1	2	3	4		
			新宿傾聴しおりの会	みんなのリビング	えんがわ家族	新宿子ども劇場		
審査項目	(1) 区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか	(10点)						
	(2) 事業計画及びスケジュールが実現可能で、妥当なものとなっているか	(10点)						
	(3) 実行体制(人員体制や安全対策)が適切であるか	(5点)						
	(4) 多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなっているか	(5点)						
	(5) 課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	(10点)						
	(6) 団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか	(5点)						
	(7) 事業の継続性や発展性が期待できるか	(5点)						
	(8) 資金計画や経費見積りが適切であるか	(5点)						
	(9) 自ら資金確保に努め、経営状況は健全であるか	(10点)						
	(10) 運営の公開性及び透明性に優れているか	(5点)						
実績評価※	(11) 過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であるか、その効果が発揮された事業であるか	(-5点)						
合計	70点満点							

※過去に助成を受けた事業のみ採点

※各委員の評価を下記のとおり事務局で点数変換し、合計点を集計します。

* 10点満点の場合(評価A:10点、B:8点、C:6点、D:2点、E:0点)

* 5点満点の場合(評価A:5点、B:4点、C:3点、D:1点、E:0点)

* (11)の採点は(評価A:0点、B:-1点、C:-3点、D:-4点、E:-5点)

No.	団体名	事業名	パワー ポイント	資料
1	新宿傾聴しおりの会	傾聴しおりによる地域支え合い事業	○	—
2	みんなのリビング	～どんな人にも居場所をつくる～ 支え合いの輪を育むコミュニティづくり事業	○	—
3	えんがわ家族	食で地域の多世代をつなぐ 『えんがわ菜園・家族食堂』	○	—
4	あそびと文化のNPO新 宿子ども劇場	障害者とともに輝く文化体験 ～インクルーシブ・共生社会を目指して～	○	○

令和元年度新宿区協働推進基金助成金

一般事業助成

公開プレゼンテーション



令和元年5月22日（水）
新宿NPO協働推進センター
5階501会議室

新宿区では、区民、事業者等からの寄附金による協働推進基金を原資として、NPO等の多様な団体が実施する地域課題の解決に向けた事業に対して助成を行うことにより、多様な主体との協働の推進を目指しています。

協働推進基金とは？

区民及び事業者等からの寄附金を活用することにより、区民の福祉の向上を目的として非営利活動を行うものに対し助成を行い、もって協働による地域社会づくりの推進することを目的に、平成16年度に設置した基金です。

☆助成対象活動☆

区民の福祉の向上を目的とした社会貢献活動で、NPO等の専門性や柔軟性を活かして、新宿区の地域課題や社会的課題の解決を目的とした事業に助成を行います。

☆助成対象団体☆

対象は、特定非営利活動法人（NPO法人）やボランティア活動団体等の営利を目的としない団体です。

☆助成金の額☆

助成額は上限50万円で助成対象経費の2／3までを助成します。

同一または継続性のある事業については3回まで助成が可能で、2回目以降の助成率は、助成対象経費の1／2までです。

令和元年度予算総額は200万円です。

1 プログラム

14時30分 開会

14時35分 新宿区協働支援会議座長挨拶・委員紹介

14時45分 プレゼンテーション実施要領説明

14時50分 プレゼンテーション開始

* プレゼンテーション進行予定時間

1 新宿傾聴しおりの会	14:50
2 みんなのリビング	15:11
3 えんがわ家族	15:32
4 あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場	15:53

16時15分 終了予定（※進行予定時間は前後する場合があります。）

2 プレゼンテーション実施団体及び事業概要

プレゼンテーション実施順

No.	団体名	事業名	助成申請事業概要	ページ
1	新宿傾聴しおりの会	傾聴しおりによる地域支え合い事業	本事業では、傾聴という身近な取り組みを通じて、親しみやすいコミュニケーションのあり方を提供し、互いの人生を肯定的に受け止めることを通じ、誰もが新宿区に生きて良かったと思えるように貢献したいとの意志のもとに「傾聴ボランティア活動」と「傾聴ボランティア養成講座事業」を推進する。 ※ 当該事業は採択団体ではなく、事業計画書等のホームページ上の公開についてご了承をいただいていないため、資料をご希望の場合は地域コミュニティ課管理係まで別途お問い合わせください。	1
2	みんなのリビング	～どんな人にも居場所をつくる～ 支え合いの輪を育むコミュニティづくり事業	独居高齢者や、障害や経済面などの困難を持つ、地域の中で孤立しがちな人たちが、地域に暮らす様々な人と継続的なつながりを作ることができる、居場所となるようなコミュニティカフェを開催する。 また、みんなのリビングや地域の様々な団体等で活躍する、様々な専門性を持つ活動者たちが、現場での活動に活かせる能力を身につけられるような勉強会を開催し、参加者がそれぞれの活動の中でよりよい居場所を作れるようにする。	10

3	えんがわ家族	食で地域の多世代をつなぐ『えんがわ菜園・家族食堂』	地域の多様な人々と「食」の交流を通じて、高齢者の生きがいづくりや、地域で子供たちや街の未来を育み、地域コミュニティの活性化と共生社会の実現を目指す。	20
4	あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場	障害者とともに輝く文化体験 ～インクルーシブ・共生社会を目指して～	障害を知り、ともに活動をする機会を増やすことで、だれもが安心して生活できる共生社会を目指す。 文化芸術の社会包摂機能をもって、ワークショップなどの創造の場や舞台鑑賞の場を区内の各地で開催し、障害者や子ども、高齢者などあらゆる人が孤立化することなく、地域でつながり、顔の見える関係を広げていく。	36

☆ご協力のお願い☆

アンケートを配布しています。今後の事業実施にあたって参考とさせていただきますので、是非ご協力をお願いします。

ご協力いただいた方にはもちろん、表紙にもなっている基金キャラクターのボールペンを贈呈！！お帰りの際にアンケート回収ボックスへ入れてください。

令和元年度一般事業助成・プレゼンテーション説明資料

1 日 時 令和元年5月22日（水）午後2時30分から午後4時15分まで

2 場 所 新宿NPO協働推進センター 5階 501会議室
(新宿区高田馬場4-36-12)

3 プレゼンテーションの実施内容

(1) プレゼンテーションは、公開とします。

(2) 1団体の発表時間は10分とし、助成対象事業の内容を中心に説明してください。

(3) 委員からの質問時間は10分程度とします。

(4) プレゼンテーションの参加人数は、1団体3名以内とします。

(5) プレゼンテーションの方法は自由とします。

会場には、パソコン、プロジェクター等の機器を設置しています。事前にパワーポイント等の利用を申し出た団体のみ、パワーポイント等を利用できます。

(6) プレゼンテーション中の退室は自由ですが、プレゼンテーション実施順番に不在の団体は、審査対象から除外させていただきますのでご注意ください。

(7) 審査資料には、申請時にご提出いただいたすべての書類を添付しています（団体活動資料等の参考資料部分は内容を精査して適量を添付しています）。

また、過去に同一事業に当助成金の交付を受けた団体については、直近の事業実績報告書も合わせて添付しています。

このため、審査員からの質問には、添付資料の内容も含まれます。

4 助成の決定

助成団体の交付申請結果通知書は5月31日（金）（予定）に送付しますので、助成決定団体は6月10日（月）までに助成金請求書を提出してください。

※ 助成団体は助成対象事業終了後、2か月以内に事業報告書を提出してください。
ただし、事業終了日が令和2年2月15日以降の場合は、同年4月15日を提出期限とします。

事業報告書の提出がない場合、助成金の返還を請求することがあります。

団体名 みんなのリビング

一般事業計画書

事業名	～どんな人にも居場所をつくる～ 支え合いの輪を育むコミュニティづくり事業																																																																																																												
① 事業目的・概要	独居高齢者や、障害や経済面などの困難を持つ、地域の中で孤立しがちな人たちが、地域に暮らす様々な人と継続的なつながりを作ることができる、居場所となるようなコミュニティカフェを開催する。 また、みんなのリビングや地域の様々な団体等で活躍する、様々な専門性を持つ活動者たちが、現場での活動に活かせる能力を身につけられるような勉強会を開催し、参加者がそれぞれの活動の中でよりよい居場所を作れるようにする。																																																																																																												
② 地域課題・社会的課題	地域のつながりを持っていることは、病気、災害などの緊急時はもちろん、普段の生活の中でも互いの支え合いにつながり、人が心身両面において健康で豊かな暮らしを営む上で重要であることは、各種の研究結果などでも言われている。 当事業が取り組みたい地域課題は以下のような新宿区の特徴からもたらされる、地域社会の分断や、コミュニティづくりの困難さ、社会的孤立状態にある人の多さなどである。 ■独居高齢者を含む、単身者割合の高さ 新宿自治創造研究所がまとめているレポート等(※1)でも述べられている通り、新宿区は単身世帯が非常に多い。2010年調査で、一般世帯中の単身世帯の割合は62.6%と全国割合の2倍程度で、諸島部を除いて全国の市区町村で最も高い。65歳以上の高齢者でも、単身者の割合が34.5%と、全国割合の2倍以上で、やはり諸島部を除いて全国で最も高い。また、単身者の割合は今後も、変化はやや緩やかになるものの増加の一途をたどり、65歳以上の高齢者では、単身者の割合は2040年に41.3%程度まで増加すると推定されている(※2)。一人暮らしであることは、周りからの干渉が少なく自由な生活ができるが、病気や困り事があったときに支援を受けられずに孤立するリスクが高い。 表1 単身世帯割合(%) (全世帯10市区町村) <table><tr><td>1</td><td>東京都青森市</td><td>67.2%</td></tr><tr><td>2</td><td>新宿区</td><td>62.6%</td></tr><tr><td>3</td><td>渋谷区</td><td>62.5%</td></tr><tr><td>4</td><td>沖縄県北大東村</td><td>61.6%</td></tr><tr><td>5</td><td>豊島区</td><td>60.9%</td></tr><tr><td>6</td><td>東京都西葛西町</td><td>60.6%</td></tr><tr><td>7</td><td>中野区</td><td>60.2%</td></tr><tr><td>8</td><td>鹿児島県十津村</td><td>58.7%</td></tr><tr><td>9</td><td>沖縄県喜望峯町</td><td>57.9%</td></tr><tr><td>10</td><td>鹿児島県三島市</td><td>57.9%</td></tr><tr><td>特別区部</td><td></td><td>54.91%</td></tr><tr><td>全国</td><td></td><td>32.4%</td></tr></table> ※単身世帯/一般世帯 (2010年国勢調査) 表2 高齢単身世帯割合(%) (全世帯10市区町村) <table><tr><td>1</td><td>東京都青森市</td><td>47.7%</td></tr><tr><td>2</td><td>新宿区</td><td>46.8%</td></tr><tr><td>3</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.6%</td></tr><tr><td>4</td><td>東京都北葛西町</td><td>46.6%</td></tr><tr><td>5</td><td>東京都三軒茶屋</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>6</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>7</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>8</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>9</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>10</td><td>東京都西葛西町</td><td>46.4%</td></tr><tr><td>特別区部</td><td></td><td>39.8%</td></tr><tr><td>全国</td><td></td><td>15.4%</td></tr></table> ※15歳以上の単身世帯/15歳以上人口 (2010年国勢調査) 表3 未婚単身世帯割合(%) (全世帯10市区町村) <table><tr><td>1</td><td>新宿区</td><td>50.0%</td></tr><tr><td>2</td><td>豊島区</td><td>46.8%</td></tr><tr><td>3</td><td>中野区</td><td>46.8%</td></tr><tr><td>4</td><td>渋谷区</td><td>43.9%</td></tr><tr><td>5</td><td>台東区</td><td>43.6%</td></tr><tr><td>6</td><td>小金井市</td><td>43.0%</td></tr><tr><td>7</td><td>沖縄県金武町</td><td>42.8%</td></tr><tr><td>8</td><td>文京区</td><td>42.5%</td></tr><tr><td>9</td><td>沖縄県恩納村</td><td>42.2%</td></tr><tr><td>10</td><td>武蔵野市</td><td>42.1%</td></tr><tr><td>特別区部</td><td></td><td>39.8%</td></tr><tr><td>全国</td><td></td><td>31.9%</td></tr></table> ※15歳以上の未婚者/15歳以上人口 (2010年国勢調査) 1) 新宿区新宿自治創造研究所(2014)「研究所レポート2013 No.2 国勢調査に基づく新宿区将来世帯推計」なお、全国推計値は、国立社会保険・人口問題研究所(2013)「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(平成25年1月推計)」より。 2) 65歳以上人口には年齢不詳を按分して算入している。表2の高齢単身世帯割合は年齢不詳を按分せず、分母も異なるため、数値は一致しない。 ■若年層(20～40歳代)の活発な人口移動 新宿区の人口は、都市部への転入超過による社会増を背景に2030年頃まで増加していく見込みであるが、その社会増の内実としては、18歳以下の人口と比較して20～40歳代の人口規模が非常に大きいことから、20歳前後から大量の人口流入があることを意味している。活発な人口移動は住民の	1	東京都青森市	67.2%	2	新宿区	62.6%	3	渋谷区	62.5%	4	沖縄県北大東村	61.6%	5	豊島区	60.9%	6	東京都西葛西町	60.6%	7	中野区	60.2%	8	鹿児島県十津村	58.7%	9	沖縄県喜望峯町	57.9%	10	鹿児島県三島市	57.9%	特別区部		54.91%	全国		32.4%	1	東京都青森市	47.7%	2	新宿区	46.8%	3	東京都西葛西町	46.6%	4	東京都北葛西町	46.6%	5	東京都三軒茶屋	46.4%	6	東京都西葛西町	46.4%	7	東京都西葛西町	46.4%	8	東京都西葛西町	46.4%	9	東京都西葛西町	46.4%	10	東京都西葛西町	46.4%	特別区部		39.8%	全国		15.4%	1	新宿区	50.0%	2	豊島区	46.8%	3	中野区	46.8%	4	渋谷区	43.9%	5	台東区	43.6%	6	小金井市	43.0%	7	沖縄県金武町	42.8%	8	文京区	42.5%	9	沖縄県恩納村	42.2%	10	武蔵野市	42.1%	特別区部		39.8%	全国		31.9%
1	東京都青森市	67.2%																																																																																																											
2	新宿区	62.6%																																																																																																											
3	渋谷区	62.5%																																																																																																											
4	沖縄県北大東村	61.6%																																																																																																											
5	豊島区	60.9%																																																																																																											
6	東京都西葛西町	60.6%																																																																																																											
7	中野区	60.2%																																																																																																											
8	鹿児島県十津村	58.7%																																																																																																											
9	沖縄県喜望峯町	57.9%																																																																																																											
10	鹿児島県三島市	57.9%																																																																																																											
特別区部		54.91%																																																																																																											
全国		32.4%																																																																																																											
1	東京都青森市	47.7%																																																																																																											
2	新宿区	46.8%																																																																																																											
3	東京都西葛西町	46.6%																																																																																																											
4	東京都北葛西町	46.6%																																																																																																											
5	東京都三軒茶屋	46.4%																																																																																																											
6	東京都西葛西町	46.4%																																																																																																											
7	東京都西葛西町	46.4%																																																																																																											
8	東京都西葛西町	46.4%																																																																																																											
9	東京都西葛西町	46.4%																																																																																																											
10	東京都西葛西町	46.4%																																																																																																											
特別区部		39.8%																																																																																																											
全国		15.4%																																																																																																											
1	新宿区	50.0%																																																																																																											
2	豊島区	46.8%																																																																																																											
3	中野区	46.8%																																																																																																											
4	渋谷区	43.9%																																																																																																											
5	台東区	43.6%																																																																																																											
6	小金井市	43.0%																																																																																																											
7	沖縄県金武町	42.8%																																																																																																											
8	文京区	42.5%																																																																																																											
9	沖縄県恩納村	42.2%																																																																																																											
10	武蔵野市	42.1%																																																																																																											
特別区部		39.8%																																																																																																											
全国		31.9%																																																																																																											

	入れ替わりの激しさとなり、地域コミュニティの形成を困難にする一因となっている。(※3) 地域でのつながりが薄くなりがちなのは、若年者や単身者が、積極的に地域の活動に参加しないことが問題と言われることもあるが、私たちが活動する中で参加する若い世代の方の声からは、それぞれ個々の置かれた社会上的立場(仕事、学校など)の違いや、それによる日常生活の中で貢献できる部分と、受けたいメリットがうまくマッチしていなかったり、経済力の違い、生活習慣の違いにより、従来のコミュニティに受け入れてもらえない感覚を持つことが多かったりすることも、一つの原因となっているという意見も多く、若年層側だけの問題ではないという見方もできる。つまり、つながりが薄くなるのは、頻繁に入れ替わる若年層が多いことそのものではなく、そのような若年層と、長く地域に暮らしている人との間での相互理解が不足していることが課題ではないかと思われる。 ※1 新宿自治創造研究所「研究所レポート 2014 新宿区の単身世帯の特徴(2)」 ※2 新宿自治創造研究所「研究所レポート 2018 新宿区地域別将来人口推計・世帯推計 ※3 新宿自治創造研究所「研究所レポート 2014 新宿区の人口移動」	
③過去にこの助成を受けた実績	助成年度() 事業名() 助成年度() 事業名() 助成年度() 事業名()	
④この事業に対する他の助成の有無(申請中のものを含む。)	有 ☒ 無 ☐	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): 助成額: 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。
⑤活動内容	ア イベント(会議)の開催予定 ① 多世代・多様な人が集う居場所カフェ 独居高齢者や、障害や経済面などの困難を持つ、地域の中で孤立しがちな人たちも参加することができ、地域に暮らす様々な人と顔の見える関係性を作ることができる居場所を開く。食事や、地域の行事、手仕事のレクなどを一緒に経験することを通じて、継続的な支え合いにつながる関係性を築くきっかけを作る。 ・ 毎月第4日曜日 11:00~16:00 に開催(変更の場合あり) ・ 対象者は、独居高齢者、障害者や生活上の様々な困難を持った人を含む、どなたでも参加可能 ・ 会場はコトナ葛が谷のリビングスペースを借りて開催(利用時間 9:00~18:00) ・ 希望者はボランティアのつくるランチをみんなで食べる ・ 開催時間中は自由に過ごせる ・ 主に午後の時間帯に手芸・手仕事のレクなどを用意 ・ 随時ボランティアスタッフの専門性に応じた相談を受ける	

② 活動者のための勉強会

みんなのリビングや地域の様々な団体等で活躍する、様々な専門性を持つ活動者たちが、現場での活動に活かせる能力を身につけることを目的として、分野を横断したスキルや価値観をともに学ぶ機会を提供する。大きく分けて2つのテーマで行うが、一つは、専門家として相談者や一般の方と接するときには有効な対話技法を養うもの、もう一つは、時代の変化に応じた価値観の多様性や、生きる上での豊かさについての新たな考え方を理解することで、支援対象者の複雑な背景やニーズを理解することにつながるものを予定している。

A) 対話の技法を学ぶ回

- ・ 6, 8, 10, 12, 2月に開催
- ・ 上記月の土日いずれかの1日 14:00～19:00に開催
- ・ 対象者は、主に新宿区内で社会的活動を行う団体で活動する方
- ・ 会場はコトナ葛が谷のリビングスペースを借りて開催(利用時間 12:00～21:00)
- ・ テーマは「オープンダイアログ」「リフレクション」「当事者研究」などを予定
- ・ 講師は、精神科医、精神保健福祉士、就労移行支援事業所運営者などを予定。

B) 価値観の多様性や豊かさの考え方を学ぶ回

- ・ 7, 9, 11, 1, 3月に開催
- ・ 上記月の土日いずれかの1日 14:00～19:00に開催
- ・ 対象者は、主に新宿区内で社会的活動を行う団体で活動する方
- ・ 会場はコトナ葛が谷のリビングスペースを借りて開催(利用時間 12:00～21:00)
- ・ テーマは「社会関係資本」「シェアリングエコノミー」「ダウンシフトした生き方」「ハームリダクション」「生き直し」「リカバリー」などを予定
- ・ 講師は、ライフプランナー、牧師、自立援助ホーム運営者、ピアサポートグループ運営者などを予定。

イ 広報活動

① 本事業のチラシの作成

本事業の目的や活動内容を知らせるチラシを作成し、社会福祉協議会や区役所出張所、図書館、地域の商店などに配置させてもらい、本事業の認知度向上を図る。

② 本事業のホームページ作成・更新

本事業の目的や活動内容を知らせるホームページを作成し、また活動の進捗を随時更新することにより、若い世代からも情報アクセスしやすい環境を整え、多世代・多様な人への認知向上を図る。

⑥実行体制 (人員体制・安全対策)	ア スタッフ等人数 ・本団体スタッフ 7名 ・ボランティアスタッフ 10名 イ 安全対策 ① 火災予防・防火対策 ランチ準備等で火気を使用するが、調理担当者は十分に目配り・気配りを行い、火災等が発生しないように努める。また、ボランティアスタッフに基本的な防火設備等の周知を行う。 当団体代表者は地域の消防団にも所属しているため、万が一火災が発生した際には、初期消火活動を行うとともに、スタッフに指示し、参加者を安全に避難させるよう努める。 ② 衛生管理 当団体代表者は、食品衛生責任者の資格を保有しており、食品を扱うスタッフには、衛生面への配慮の方法を随時指導する。特に梅雨や夏場の食中毒の起こりやすい時期は、メニューを決める段階から留意するよう努める。 ③ 保険加入 ・参加者に万が一、事故・怪我・食中毒等が発生した場合に備え、東京都社会福祉協議会の行事保険に加入する。 ・ボランティアスタッフに万が一、事故・怪我等発生した場合に備え、東京都社会福祉協議会のボランティア保険に全員加入する。
⑦期待される成果	ア 区民や地域社会への成果・効果 ▼孤立しがちな区民のつながりの強化 ・孤立しがちな独居高齢者が今回の事業を通じて多世代・異年齢の人たちに出会い、心身の健康を維持すること。 ・日常的に地域の中で顔の見える関係性が生まれ、近隣に住む人の異変に気づくことができるようになる。 ▼区民への普及啓発 ・本事業により作成するチラシ・ホームページにより、区民の認知が広がり、活動内容をより理解してもらえるようになる。「あの場所に行ってみようかな」という気持ちが誘発されやすくなり、参加者が増え、さらには、運営側に関わってみようと参画する人が増えることも期待できる。 ・活動者向け勉強会により、既存の子ども向け、高齢者向け、障害者向け、困窮者向け活動など、専門特化した活動者間のネットワークが活性化し、そのゆるやかな繋がりを通じて、お互いの団体の広報にも協力しあうことで、これまでより情報が行き渡るようにする。 ▼区民参加への貢献 ・20～40代の若い世代が、働きながらも「小さな社会貢献」に取り組む実践例に関わってもらうことで「力みすぎない、自分サイズでの支えあいの地域づくり」を体感する機会となる。若い世代ならではの地域

	づくりの参画をゆるやかに促す。 イ 現状や課題に対する成果・効果 ▼社会への波及 ・多様な仕事に従事する 30～40 代が「個々のペースに応じたゆるやかな地域参画」の実験をしている姿に触れることで、これまで地域にあまり目が向かなかった人たちも、「あ、これぐらいなら自分にもできそう」と気軽に感じ、地域づくりに参加するきっかけとなる。 ・勉強会を通じ、専門分野の枠を超えて関わる支援者が増え、自己研鑽をしあうことで、多様性を受け入れあえる地域社会を実現していく。
⑧先駆性・専門性	■運営メンバーの若さ 地域に根づいた居場所活動などは、比較的高齢な世代により運営されていることが多いが、当団体では、30～40 代を中心とした比較的若い世代が中心となって運営している。このことで、今まで地域活動にあまり関わりを持ちづらかった世代が地域活動に参加しやすい雰囲気を作ることができる。 ■多様な専門性を持ったメンバー みんなのリビングは、医療福祉相談員、福祉用具専門相談員、看護師、理学療法士、行政職員、介護用品会社社員、プレーパークスタッフなど、多様な専門性を持ったメンバーが参画し、それぞれの専門性を活かしながら活動している。 ■専門職や活動者と地域住民をつなぐ 上記の通り、所属するメンバーに医療・介護専門職のメンバーが多いことから、落合勉強会、新宿食支援研究会、新宿医療・保健・福祉連絡会など、新宿区で活動する医療・介護多職種のコミュニティとのつながりを持っているほか、新宿区社会福祉協議会のふれあい・いきいきサロンに登録されている各サロンの運営者やボランティアグループのコミュニティとの関係性を築いている。これにより、専門職集団の持つノウハウや強みを引き出しながら、地域の一般住民との間をつなぐ取り組みをすることができる。 ■属性の壁を超え我が事と捉えられる相互理解の機会を作る 例えば精神障害の問題であったり、児童虐待の問題であったり、生活困窮の問題であったり、各個々の社会課題ごとに、それらの当事者に強く寄り添って当事者に利益をもたらすように、非常に有益な活動、事業を行う非営利団体などは既に多くあるが、一方で、そういった団体の強みである、それらの困難な課題の一つ一つに特化し、深く切り込んでいる専門性は、一般の人や、別の課題を持った団体の人からは、遠い世界のように見えてしまい、我が事と捉えにくいという問題もある。そこで、私たちは、専門性を持ちながらも、それを強く打ち出した活動というよりも、誰もが必要とする日常生活に近い場面をともに経験する機会を作ること、多様な人が自然と触れ合っていたという結果を生み出すことを意図している。

⑨事業の今後の展望	1. 居場所カフェの拡充 運営に参画するメンバーの多くが、他に主たる仕事を持ちながら、空き時間を使って活動していることもあり、現状は定期的な居場所の活動を開催している日が限られている。今後さらに、限られた時間を使って関わる人を増やすことや、みんなのリビングを、仕事をするための場所として滞在する人を集めることで、場が開いている日程、時間を増やしていく。また、より多様な参加者が集うことができるように、居場所の中で持つ機能を拡充していく。具体的には、以下のような機能を想定している。 ✓ 日替りよろず相談受付 ✓ まちライブラリー（図書館） ✓ まちなかシアター（上映会） ✓ こども食堂 2. 活動者向け勉強会の拡充 居場所カフェと同様、関わる人を増やしていくことで、勉強会の頻度の増加、内容の充実を図っていく。 3. 法人化 定期的な居場所づくりの活動を開始して 2 年半が経過し、参加者規模や、企画内容が徐々に拡大していきっており、また今後さらに事業性を持たせた取り組みを拡大していくにあたり、NPO 等の法人格を持つことを検討中である。 4. 資金獲得方法の多様化 A) 会費収入 参加、利用する人の立場に応じた会員制度を作り、会費収入を得られるようにしていく。 B) 寄付収入 企業からの寄付の獲得や、クラウドファンディングによる事業資金の獲得を目指す。 C) 助成金収入 実績を積み上げる事により、民間財団法人などが提供する助成金の獲得を目指す。
------------------	---

一般事業収支予算書

支出区分	事業費	費 目	予 算 額	内 訳
		①使用料及び賃借料	105,000 円	・居場所カフェ会場利用料 500円×9h×10回=45,000円 ・活動者向け勉強会会場利用料 500円×9h×10回=45,000円 ・運営会議会場利用料 500円×3h×10回=15,000円
		②印刷製本費	21,540 円	・事業チラシ印刷 2000枚 21,540円
		③消耗品費	60,000 円	・プリンターインク3セット 8,100円 ・A4コピー用紙 1箱 3,100円 ・ラミネートフィルム 2箱 2,600円 ・ふせん100冊 3,100円 ・ファイル類 18,000円 ・ティッシュ類 11,000円 ・その他文具等 4,100円 ・レク材料費 10,000円
		④委託費	162,000 円	・リーフレット企画/デザイン 75,600円 ・ホームページ構築・維持管理 86,400円
		⑤講師謝礼	200,000 円	・①居場所カフェレク講師 5,000円×10回=50,000円 ・②A)勉強会講師 20,000円×5回=100,000円 ・②B)勉強会講師 10,000円×5回=50,000円
		⑥その他謝礼	60,000 円	・居場所カフェボラ謝礼 1,000円×4人×10回=40,000円 ・勉強会ボラ謝礼 1,000円×2人×10回=20,000円
		⑦交通費	34,560 円	・打ち合わせ交通費 ①アドバイザー864円×30回=25,920円 ②スタッフ288円×30回=8,640円
		⑧保険料	15,000 円	・行事保険(東社協) ①30円×150人=4,500円②30円×100人=3,000円 ・ボランティア保険(東社協) 500円×15人=7,500円
		⑨その他諸経費	9,000 円	・PCソフト使用料 900円×10ヶ月=9,000円
		⑩人件費	160,000 円	※下記「事業費」の20%以内 (166,775) ・団体構成員 1,000円/時×月8時間×10ヶ月×2人=160,000円
		事業費(①から⑩の合計)	827,100 円	
		⑪ファンドレイジングに関する経費	円	※事業費の5%以内 (41,355)
		⑫助成対象経費 (事業費+⑪)	827,100 円	事業費と⑪の経費の合計
		⑬助成対象外経費	40,000 円	①コミュニティカフェ食材費 2,000円×10回=20,000円 ②勉強会懇親会食材費 2,000円×10回=20,000円
		事業総額	867,100 円	⑫助成対象経費+⑬助成対象外経費
収入区分		内 容	予 算 額	積 算 根 拠 (内 訳)
		㉞ 事業収入 (参加料、資料代等)	250,000 円	・①カフェランチ 500円×10人×10回=50,000円 カフェレク参加費 500円×10人×10回=50,000円 ・②勉強会参加費 500円×10人×10回=50,000円 勉強会軽食費 1,000円×10人×10回=100,000円
		① 寄附金	115,000 円	・個人等からの寄付 55,000円 ・チャリティ懇親会 60,000円
		㉞ 補助金等収入	円	
		㉞ 協働推進基金助成金	500,000 円	※上記㉞の助成対象経費の2/3以内 (551,000) (千円未満切り捨て) ※助成金上限額 (500,000)
		㉞ 団体負担金	2,100 円	
		収入総額	867,100 円	

その他

助成金申請額を減額して助成金交付決定をした場合の事業遂行の可否 (☒ 可) 否)

※いずれかに必ず〇をしてください。



みんなのリビング葛が谷

みんなのリビング葛が谷

9月のご案内

コミュニティカフェ「こみちをぬけて」

9/23(日)

11:00~16:00
(※13:00以降はお出かけします)

お神輿を担ごう

13:00過ぎ
中井御霊神社の祭礼があり、お神輿担ぎに参加します。
半額等は借りる、とがでますので、となにでも参加したい場合は、お神輿は不可です。お神輿は、お神輿を担ぐに代わります。



「こみちごはん」(予約制)

ボランティアのごはん担当が作る、家庭的なごはんを食べられます。(11:30~14:00まで)

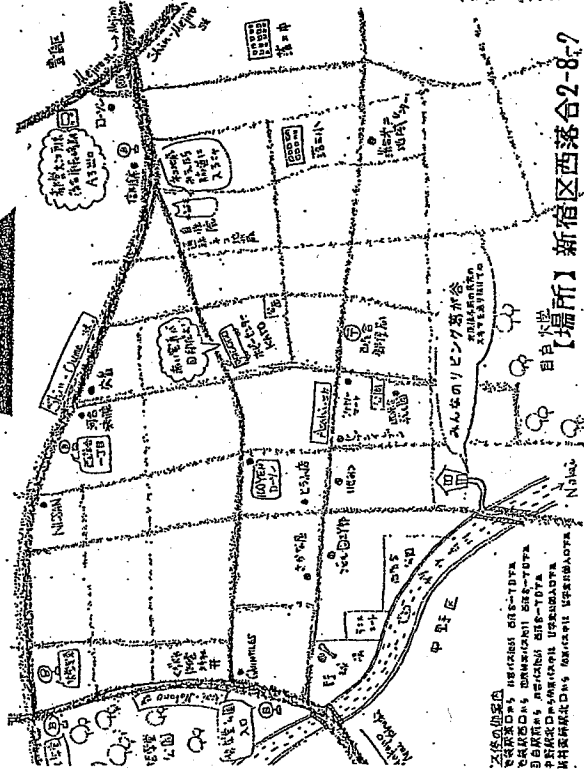
※前日までにメールかお電話でご予約ください

(当日でもお問合せ下さい)

★定食 大人 700円

子ども 500円(小学生以下)

※メニューはその日により変わります



【連絡先】

TEL: 050-3632-3570

E-mail: living.kuzugaya@gmail.com

担当: 佐藤まで

【仲間募集】

ひとり、人数より、みんなが一緒に食べると美味しい。

楽しい。

そんな場を、平日の夜など、

そばにいる、平日の夜に、

開けるように、みんな、

みんなのリビングを作っています。

いけませんか?

料理作るよ、子ども見るよ、介

護あるよ、等できるよ、等できるよ、

等れば、誰かの役に立つかも。

※調理する方には衛生検査を受けていた

いただきます(使用済みの)

【場所】新宿区西落合2-8-2

みんなのリビング葛が谷

みんなのリビング葛が谷 新宿区西落合2-8-2



みんなのリビング葛が谷

みんなのリビング葛が谷

12月のご案内

コミュニティカフェ「こみちをぬけて」

12/29(土)

11:00~16:00

和紙染めで

お正月を彩ろう

13:30頃~

今回は、お節料理のテーマ「お節料理」

イベントにも使える和紙染めをやります。

およ。著書やほな、

アソビカバ、などにも

応用できます。

参加費 100円

(当日でもお問合せ下さい)

★定食 大人 500円

※メニューはその日により変わります

「こみちごはん」(予約制)

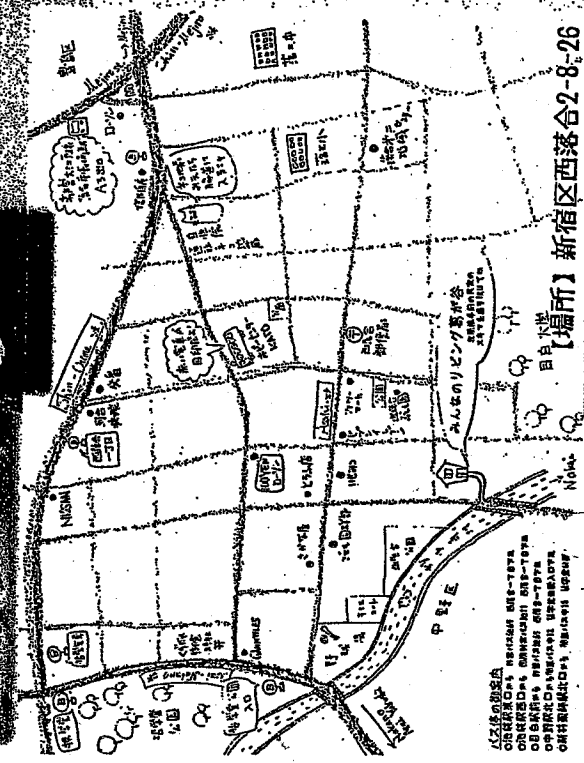
ボランティアのごはん担当が作る、家庭的なごはんを食べられます。(11:30~14:00まで)

※前日までにメールかお電話でご予約ください

(当日でもお問合せ下さい)

★定食 大人 500円

※メニューはその日により変わります



【連絡先】

TEL: 050-3632-3570

E-mail: living.kuzugaya@gmail.com

担当: 佐藤まで

【仲間募集】

ひとり、人数より、みんなが一緒に食べると美味しい。

楽しい。

そんな場を、平日の夜など、

そばにいる、平日の夜に、

開けるように、みんな、

みんなのリビングを作っています。

いけませんか?

料理作るよ、子ども見るよ、介

護あるよ、等できるよ、等できるよ、

等れば、誰かの役に立つかも。

※調理する方には衛生検査を受けていた

いただきます(使用済みの)

【場所】新宿区西落合2-8-2

みんなのリビング葛が谷

みんなのリビング葛が谷 新宿区西落合2-8-2



みんなのリビングゴーヤ
葛が谷

みんなのリビングゴーヤが谷

1月のご案内

コミュニティカフェ「こみちをぬけて」

1/27(日)

絵手紙を描こう

13:30頃～ 参加費：100円

こっし、松本あかねさん
昨年8月に開催した絵手紙の第2弾を開催します。筆で描く方法と、色鉛筆やクレヨンで描く方法など、いろいろやってみましょう。



「こみちごはん」(予約制)
ボランティアのこはん担当が作る、家庭的なごはんを食べられます。
(11:30～14:00まで)

※前日までにメールかお電話でご予約ください

(当日でもお問合せ下さい)

★定食 大人 500円

※メニューはその日により変わります



【通称先】

TEL: 050-3632-3570

Mail: living.kuzugaya@gmail.com

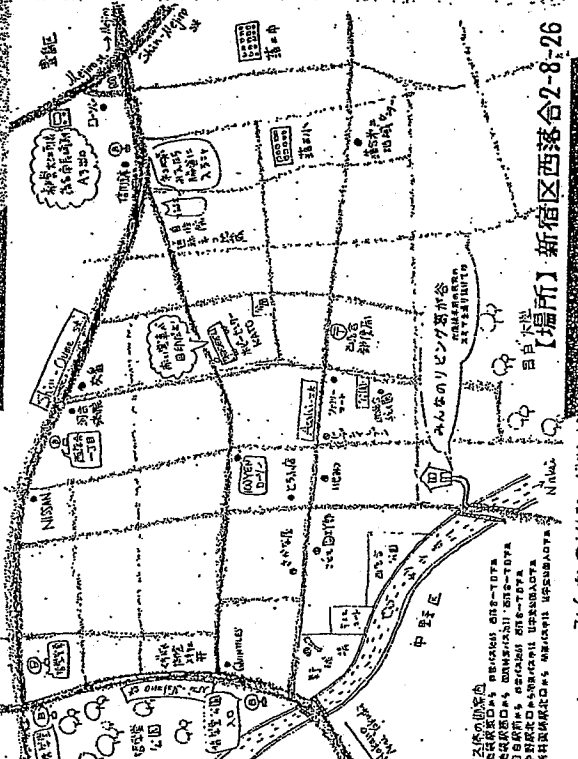
担当 佐藤まで

【仲間募集!!】

ひとり、少人数より、みんなでご飯を食べると美味しいし、楽しい。

そんな場合、平日の夜など、さしにしている平日、時間開けるように、みんな、みんなのリビングを作っています。

いきませんか? 子どもを見る、介護、料理を作る、等、できること、あるいは、誰かの役に立つことが、調子わる方には厚生年金を受けたいにきまき(費用負担なし)



【場所】新宿区西荻2-8-26

みんなのリビング葛が谷 1・いきいきサロンに寄託しています。



みんなのリビングゴーヤ
葛が谷

みんなのリビングゴーヤが谷

2月のご案内

コミュニティカフェ「こみちをぬけて」

2/24(日)

食支援すなっく

presents スペシャルランチ

『高齢者の6人に1人は飲み込み注意!』
誰にでも起こりうる、飲み込みの課題を身近な食べ物、飲み物から取り上げる、食支援の「すなっく」も開催します。

専門職に依頼し相談して、話も聞ける、準備、新宿食支援研究会が、すなっくを、

当日でもお問合せ下さい

★ランチ 500円

※今回はすなっくスペシャルランチです。



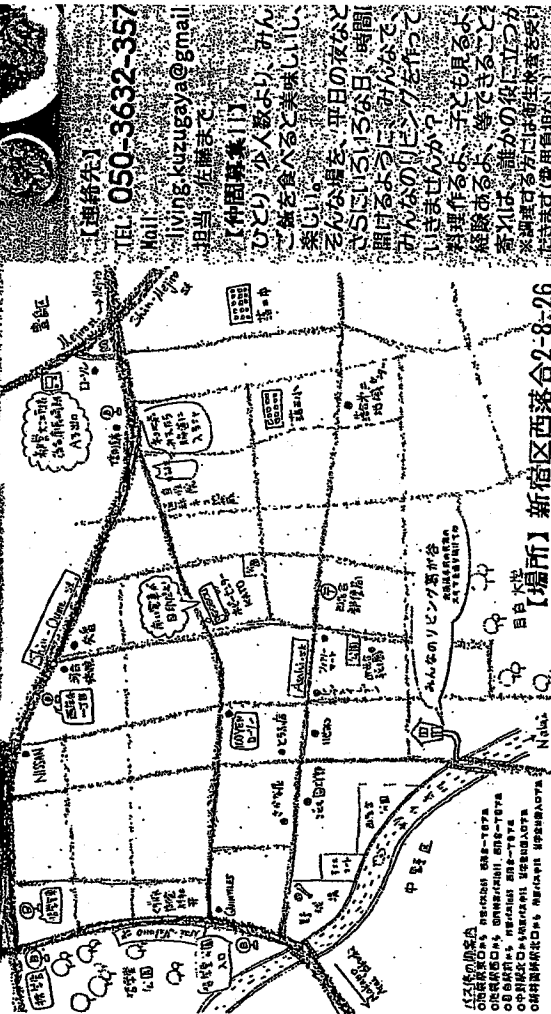
「こみちごはん」(予約制)
ボランティアのこはん担当が作る、家庭的なごはんを食べられます。
(12:00～14:00まで)

※前日までにメールかお電話でご予約ください

(当日でもお問合せ下さい)

★ランチ 500円

※今回はすなっくスペシャルランチです。



【場所】新宿区西荻2-8-26

みんなのリビング葛が谷 1・いきいきサロンに寄託しています。



みんなのリビングゴヤ
葛が谷

みんなのリビング葛が谷

3月のご案内

コミュニティカフェ「こみちをぬけて」

3/31(日)

11:00～16:00

お味噌を作るう

13:30頃～ 参加費：500円

こづし：小出まゆみさん

大豆、塩、たった3つだけの材料
と半年の熟成期間があれば美味しい手
作りお味噌ができます。絶対に美味し
い手前味噌、作ってみませんか？



「こみちごはん」(予約制)
ボランティアのこはん担当が作る、
家庭的なごはんを食へます。
(12:00～14:00まで)

※前日までにメールかお電話でご予約
ください

(当日でもお問合せ下さい)

★ランチ 500円

※メニューはその日により変わります



【連絡先】

TEL: 050-3632-3570

E-mail: living-kuzugaya@gmail.com

担当：佐藤まで

【仲間募集!!】

ひとり、少人数より、みんなで
ごはんを食べると美味しいし、
楽しい。

そんな場を、平日の夜など、
さらにいろいろな日、時間に
開けるように、みんな、

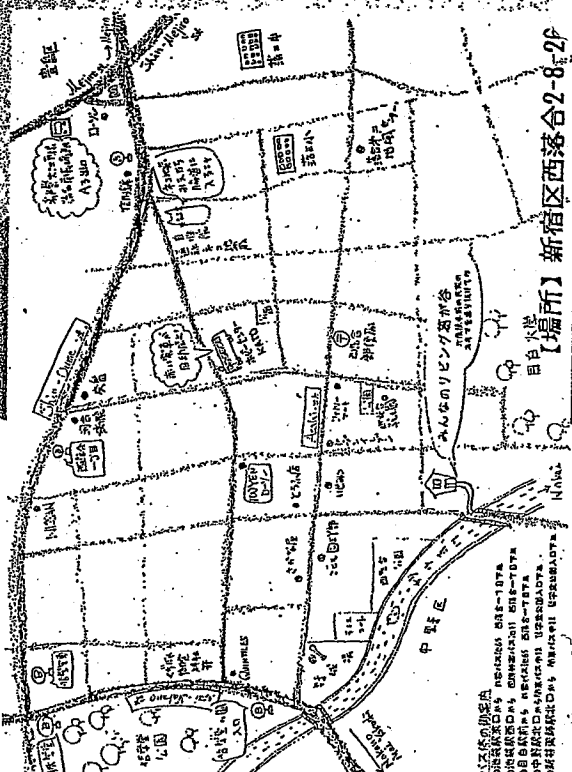
みんなのリビングを作って
いきませんか？

料理を作る方、子ども見る方、介護
経験ある方、等、できることを持ち
ながら、誰かの役に立つかも。

※調理する方には衛生管理を付けていた
でます。(費用負担なし)

【場所】新宿区西落合2-8-2F

みんなのリビング葛が谷



みんなのリビング葛が谷

団体名 えんがわ家族

一般事業計画書

事業名	食で地域の多世代をつなぐ『えんがわ菜園・家族食堂』	
① 事業目的・概要	地域の多様な人々と「食」の交流を通じて、高齢者の生きがいづくりや、地域で子供たちや街の未来を育み、地域コミュニティの活性化と共生社会の実現を目指します。	
② 地域課題・社会的課題	・活動の主たる舞台になる戸山ハイツ団地は、“都心の限界集落”とも言われる程の、都心でも有数の少子高齢化団地です。人口 5564 人、65 歳以上は 3094 人と、高齢化率が 55.6%に達し、全国的に見ても高齢化が顕著な地域であり 20 年後、30 年後の日本の姿を先取りした地域です。(新宿区 HP「新宿区の人口(平成 31 年 4 月 1 日現在)」より町別年齢別人口の戸山 2 丁目人口の数値) 実際に、この地域にお住まいの方々数十名に行ったインタビューでは、独居高齢者の方々からは、近所に気軽に頼れる知人が少なく、孤独や不安を抱えて生活している高齢者が多くいる事と合わせて、定年退職後の時間とスキルを持て余し、生きがいを感じ辛くなっている元気な高齢者も多くいるという課題が浮き彫りになりました。 また、子育て家庭に関しては、核家族や共働きによるワンオペレーション育児に忙殺され、誰かの手を借りたいのに、近所に気軽に頼れる顔見知りが少ないといった課題を抱えている事が分かりました。 これらの問題は、さらに深刻化する事で、高齢者の孤独死や家事育児のストレスから児童虐待のような最悪の事態に繋がる可能性も否定できません。(実際に戸山地域では、毎年数名の孤独死が発見されています。) これらの現状から、私達は高齢者や子育て家庭が抱えている課題の抱え込みや、孤独、不安を、地域住民同士のゆるやかな繋がりを作る事で、お互いが助け合い安心して暮らせる『支え合いの町』にしていきたいと考えています。この問題は、戸山地域に限らず、新宿区や日本の様々な地域でも同様の課題が起きていると考えているため、この地域が子育てや高齢者の社会参加の分野で“都心のオアシス”に変貌できるなら、新宿や日本の未来に大きな希望を与えられるのではないかと考えています。	
③過去にこの助成を受けた実績	助成年度() 事業名() 助成年度() 事業名() 助成年度() 事業名()	
④この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 ☒ 無 ☐	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額。 助成名(団体名): 助成額: 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。

⑤ 活動内容

■えんがわ菜園

場所：戸山いつきの杜の前庭

参加者：各回共に 大人 20 名、子ども 15 名 の定員予定

内容：

① 土壌づくりと畝づくり（4月～5月に2回）

⇒ 小石や雑草の除去、腐葉土による土壌改良をします。

土壌改良の作業は地域の菜園経験のあるシニア世代の参加、協力を得て行います。

② 野菜の苗木植え（6月・7月の2回）

⇒ 野菜の苗木植えを行います。苗木を植えた後は、野菜にまつわるクイズやゲームを通じて家族間や多世代の交流会を行います。また、7月には野菜苗植えと合わせて『豊作祈願祭』を実施。音楽ワークショップを通して、多世代交流を行い、参加者全員で豊作祈願をします。

③ 収穫祭（9月～10月に1回）

⇒ 収穫した野菜を使ってサラダやバーベキューで『収穫祭』を行います。食事や音楽ワークショップ等を通して多世代でワイワイ『秋祭り』気分を満喫できるようにします。

（収穫祭のみ、定員 50 名）

④ 日々の手入れ

⇒ 日々の水やりや雑草取りは、地域で家庭菜園を行っているシニア世代の方々に菜園ボランティアとして協力を得ます。

■えんがわ家族食堂

場所：戸山シニア活動館の調理室・活動室

実施頻度：年間を通じて2か月に1回の実施

（6月、8月、10月・12月、1月、3月）

参加者：各回共に 35 名程の定員予定（50 名まで収容は可能）

内容：近隣地域にお住まいの一人暮らしの高齢者や子育てファミリーをメイン対象にした地域のコミュニティ食堂を開催。食を通じて、地域の子供たちと高齢者などの多世代交流の場にします。近所の学生さんや会社帰りの方など、どなたでも参加可能で、誰でも気軽にフラッと立ち寄って、親戚や家族が集まったみたい、皆でワイワイ食卓を囲みます。

また、毎月様々なテーマでシェフを変えていく、『ワンデイシェフ』スタイルが特徴で、下記のようなテーマでの実施を検討しています。

・「丸山おばあちゃん家のゴハン」 ・「子どもシェフキッチン」
・「定年おやじの本気ゴハン」 ・「パクさん家の韓国家庭料理」

子供シェフキッチンでは、家庭料理の大ベテランや栄養士の方を先生に迎えて子ども向けの料理教室を行います。子供たちは、食品や栄養、調理具の使い方の基礎を学び、家庭でのお手伝い

	力向上も目指します。 イ 広報活動 ・区施設（特別出張所、地域センター）でチラシ配布 ・西地区自治会の掲示板でポスター掲示 ・当団体の facebook ページで情報発信 ・チラシ折込広告
⑥実行体制 (人員体制・安全対策)	ア スタッフ等人数 ・運営の中心になるメンバー（リーダー）は5名 ・行事の内容や規模に応じて参加するサポーターは7名程度で会員（リーダー）と賛助会員（サポーター）で合計12名程度。 イ 安全対策 ・不特定多数の参加者を募って行う行事は、その都度、行事保険に加入して実施 ・どの活動も子供や高齢者の参加を想定しているので進行管理や飲食の提供に関しては、十分な安全への配慮を行います。リーダーやサポーターには福祉職や看護職で働いている人がいるのでその経験を生かします。
⑥ 期待される成果	ア 区民や地域社会への成果・効果 区民は、ある時はイベントへの参加者として、そして本人の希望があれば、自分の得意を活かして運営側として関わる事ができます。（お料理づくりや、菜園づくり等。また、そこで実施する簡単なワークショップ等）これらの関わりを通して以下の様な効果や成果を得る事が出来ます。 ・ <u>高齢者の生きがいづくり</u> 地域のゆるやかな繋がりを作ることで、独居高齢者の抱えている孤独や不安を解消します。また、地域の高齢者が様々な自分の得意を地域に還元していく事で、新たな社会参加の場の創出になり、生きがいと健康寿命の延伸にもつながります。 ・ <u>地域で子どもを育てる意識の醸成。子どもを共に育む、共育。</u> 子育ての「困った」「どうにかしたい」の問題を家庭内だけで抱え込まなくなります。食を通じたイベントで知り合った、ご近所さんや地域住民同士でサポートし合い、地域で共に子どもを育てる共育の視点が醸成される事により、共働きの忙しいママパパや、シングル家庭に心と時間のゆとりが生まれます。 ・ <u>多様な人々との関わりから、子ども達のキャリア観を広げる</u> 地域にはカッコイイ人生の先輩が沢山います。多世代交流の中で、年長者の知恵や多様な生き方を知るで、子ども達の夢やキャリア観を育みます。また、学校でも家庭でも習い事でも無い、「地域」という第3の新たな居場所にも繋がります。 ・ <u>人と人の繋がりによる防災、防犯</u> 地域により多くの顔見知り出来る事で、防災・防犯においても

	非常に大きな意味を持ちます。 イ 現状や課題に対する成果・効果 ・定期的な食イベントを通じて、地域の多様な方々との顔の見える温かな関係性やゆるやかな繋がりが出来る事で、お互いの何気ない困り事を助け合える共生の関係性を醸成します。 ・地域に顔見知りが増える事で、地域の子ども達を、地域の皆で育てるという意識の変化により、街の将来に夢や希望を与える効果を生みます。 ・地域コミュニティの活性化に取り組む団体（町会・自治会、市民活動団体等）との交流や協働にも積極的に取り組むことで、自治会コミュニティ活動の担い手の発見や育成に寄与できます。（えんがわ家族のイベント参加をきっかけに、自治会等の地域を支える活動への関心を高めます）
⑦ 先駆性・専門性	・ <u>メンバーの専門性を活かした活動の運営</u> 本会は準備段階で会員に福祉職、看護職、公共施設の職員、キャリアカウンセラー、フリー記者等、多様な職種のメンバーが参加していて、それぞれのキャリアや専門性を活かした運営を目指しています。また、新宿区は早稲田大学や目白大学等、市民活動やボランティア活動が盛んな大学、専門学校が多い地域という特性を生かして、今後は若年層の社会貢献や研究活動にも活動の場を提供することも視野に入れた活動を展開します。 ・ <u>新宿区の少子高齢化団地の最先端を行っている「戸山団地」を中心に、住民による住民のための街の課題解決活動</u> 上記②地域課題でも申し上げました通り、活動の主たる舞台となる戸山ハイツ団地は、高齢化率が55.6%に達し、全国的に見ても高齢化が顕著な地域であり20年後、30年後の少子高齢化の日本が抱える課題を先取りした地域です。そしてこの地域で起きている問題は、この先必ず新宿区や日本の様々な地域でも同様の問題になると考えているため、この地域課題を「食」を通じた住民同士の支え合いにより、子育てや高齢者の社会参加の分野で“都心のオアシス”に変貌できるなら、今後同じような課題を抱える新宿や日本の他の地域にも広めていく事が出来るという意味で先駆性に満ちた取り組みと考えます。 ・ <u>誰もが参加者。誰もが町の先生になれる。</u> <u>身近な地域で支え、支えられる関係性づくり。</u> えんがわ菜園や家族食堂で、苗植えの指導をしたり、料理づくりを行う方々は、えんがわ家族の活動に共感頂いた地域住民が主体となっています。会への関わり方は様々ですが、特徴としては、誰もが得意な事を活かして運営者や先生になれる事です。 地域住民の大人が先生になったり、子ども達だって自分の得意を活かして先生になったり、大人達に料理を振る舞う事もあります。「地域の為に、誰かの為に、何かをやりたい」という気持ちがあれば、誰もが参加者であり、サポーターになれるという点で先駆性のある

	取り組みと考えます。
⑨事業の今後の展望	・戸山ハイツには近年、外国籍の居住者が増えています。また、外国籍の居住者や就学・就労者が特に多い大久保地域とも隣接している事から外国籍の住民との共生も重要な地域の課題になっています。そこで『えんがわ菜園・家族食堂』については、今後の利用者や運営者には多世代だけでなく、国籍・文化、心身の障害等の多様性を大切にした運営を行う事で、多文化共生の街、「新宿らしい取り組み」を進め、この活動を新宿区全体に広げていきたいと考えています。 ・また、助成金に頼らない運営資金づくりの方法として、この活動のスポンサーや協賛頂ける企業の発掘を積極的に行います。例えば、家族食堂で使用する食材調達の方法としては新宿に本社を置くパルシステム東京さんに食材提供を頂いたり、契約農家との繋がりづくり等にも努めます。また、運営メンバーやサポーターには多様な特技やキャリアを持っているメンバーが多くいる為、それらのスキルを活かしたセミナーや勉強会の開催により、自主財源づくりにも努めます。 そして将来的には、上記取り組みに留まらず、クラウドファンディング等で賛同者から資金を集め、2～3年後には地域住民の居場所となるような常設のコミュニティスペースの開設を目指します。

都心の
限界集落での

多世代交流による 支え合いの町づくり



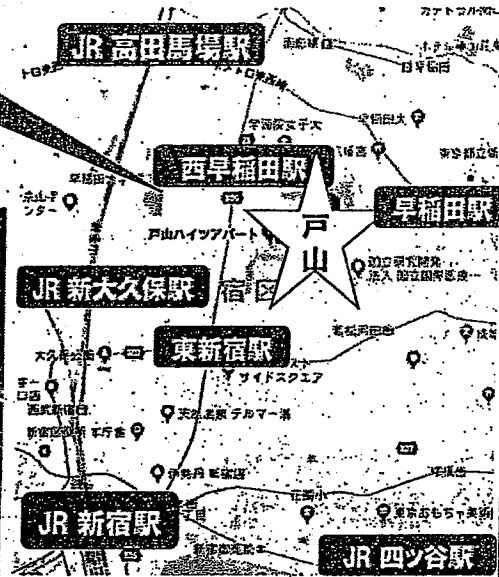
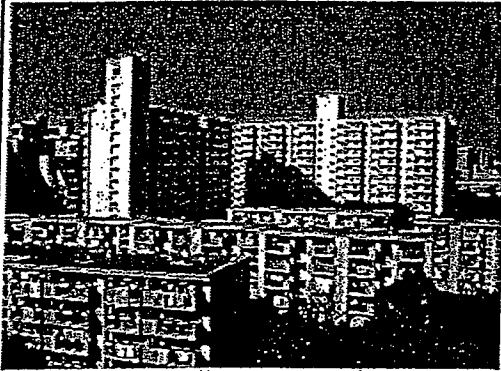
「えんがわ家族プロジェクト」 八木橋 萌絵



東京都 新宿区 戸山地域

便利な土地柄、
共働き 子育て家庭も多い！

戸山ハイツ団地：人口約6,000人



様々な問題を抱える「高齢者」と「子育て家庭」 ～実際のインタビュー調査で聞こえてきた声～

何かちょっとした時間でも誰かの役に立てる事が出来ないがしら。

放課後、子供を安心安全に遊ばせられるような居場所が無くて困る。子どもが放課後どこで何をしているのか不安だわ。
(学童待機児童1万7千人)



高齢者

毎日一人でゴハンを食べるのが寂しいわ…。つまらない。

我が家は共働き家庭だから、帰宅後の限られた時間の中でのタスクが多い。夕食の準備、片づけが特に大変。

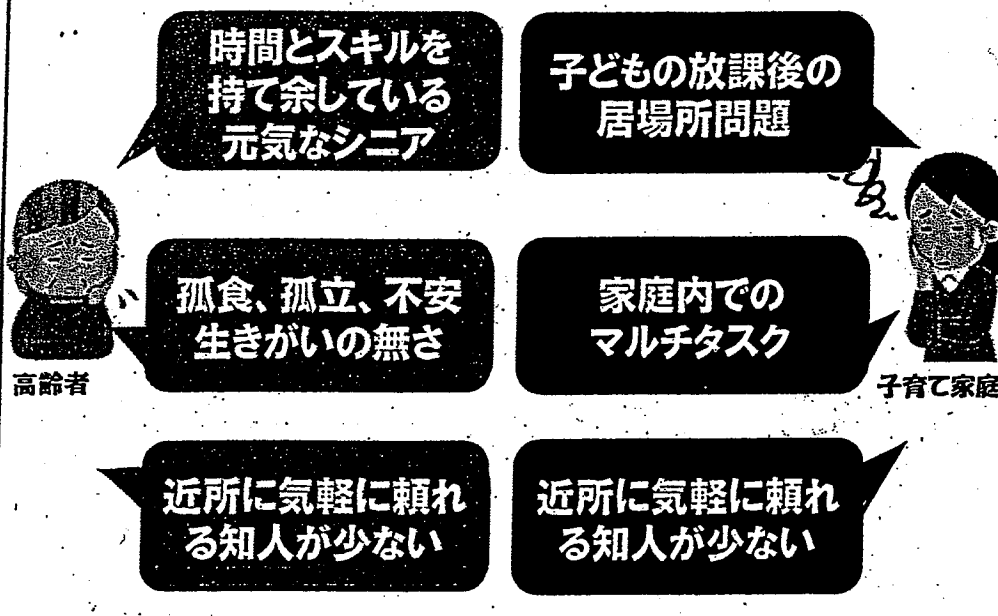


子育て家庭

電球1個変えるのも大変。何か困った事がある時に、身近に気軽に頼れる人がいれば…。

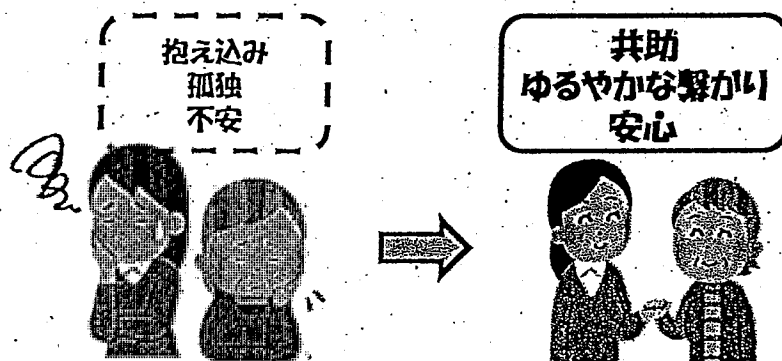
ちょっとした時間だけでも、近所に子どもを預かってくれる人がいれば、安心だし、どれだけ楽か…。

様々な問題を抱える「高齢者」と「子育て家庭」
～実際のインタビュー調査で聞こえてきた声～



私が解決したい問題は？

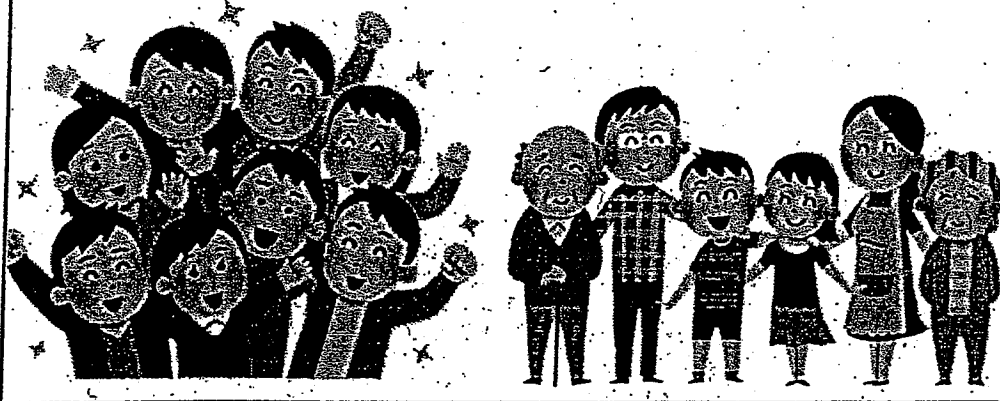
地域住民同士の繋がりの希薄化による
孤立、問題の抱え込みを無くしたい！！



地域住民一人一人が、得意な事、出来る事を活かした
支え合いの町にしたい！

多世代交流による 支え合いの町づくりを目指す！

誰かの「困った」を、
地域の住民同士で支え合う事で、
もっとイキイキ活気ある地域に！



地域の多様な人々がフラッと立ち寄って
人と人が繋がれるような 地域コミュニティの場づくり



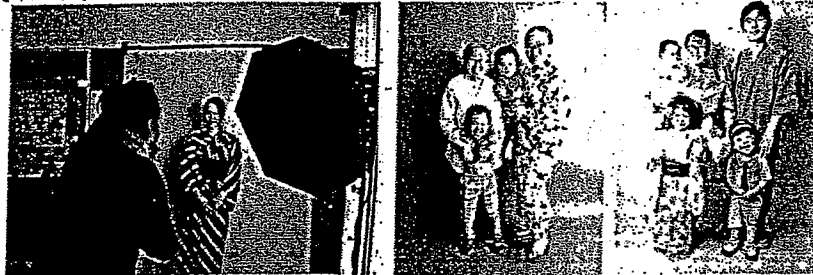
⇒ 将来的には常設のコミュニティスペースを持ちたいと考えているが、
資金面等の問題から、まずは特定の場を持たず、
イベントベースで多世代交流の機会を創り出す！

昨年、実験的にやってみたイベント

【えんがわ菜園】 地域の高齢者施設のお庭を借りて、子どもたちと野菜作り。



【七夕縁日】 地域のシニアに浴衣を着付けてもらう & フロに撮ってもらう家族写真撮影会



【昨年の取り組みから、感じた事】

● イベントを実施するだけでは、
参加している住民同士や多世代の交流には繋がらない

⇒ 参加者同士の交流を作り出すプログラムの工夫が必要
(多世代交流などを行うには、何かしらのしかけが必要)

● 単発イベントだけだと、継続的な繋がりが作りにくい。

⇒ 定期開催の取り組みを行い、
継続的な繋がりをつくる工夫が必要。

次の一手

地域の家族食堂

「食」をキーワードに地域を結ぶ！

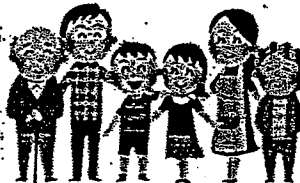
【地域のコミュニティ食堂】

毎月1回ほど、誰でも気軽にフラッと立ち寄れるゴハン会を開催。
一人暮らしの高齢者や、子育て家庭も、近所の学生さんも、
皆でおしゃべりをしながら楽しくゴハン。
親戚や家族が集まったみたい、皆でワイワイ食卓を囲む。

※1dAYシェフ制度で、毎月シェフを変えて、様々なテーマにて開催。

- ・「丸山おぼあちゃん家のゴハン」
- ・「定年おやじの本気ゴハン」

- ・「子どもシェフキッチン」
- ・「バクさん家の韓国家庭料理」



仲間集め

【既にご協力頂いている関係者】

- ・町内会
- ・町の福祉施設（← 家族食堂も実施させて頂く）
- ・様々な特技を持った町のアクティブシニア
- ・近所の子育て家族

【今後、ご協力頂きたい関係者】

- ・まちづくり関係に詳しい、興味のある方々
- ・コミュニティカフェに詳しい、興味のある方々

- ・近隣商店街
- ・行政(新宿区役所)
- ・協賛企業(近隣のパルシステム東京など)
- ・食材提供頂ける企業、個人

- ・近隣大学(早稲田大、目白大、東京家政大)
- ・近隣小中高等学校(戸山高校、東戸山小学校など)

組織運営や
専門的な知見、
情報のアドバイス
立ち上げサポート

資金面、食材提供
広報面
での支援、協力

ボランティア
スタッフとして支援

【今後の展望】

まずはイベントベースで地域の方々との接点を持ち、
やっていく中で地域の方々の声に耳を傾け、
地域住民のお困り事やニーズを把握し、次の一手を考える。
そして、想いに共感してくれる仲間や協力者を増やしていきたい！

【今後の予定】

4月 新宿区の助成金申請

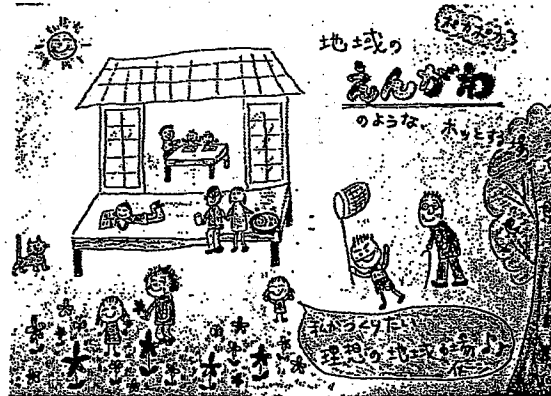
5月 菜園イベントの実施

6月 新宿子育てメッセ出展
家族食堂の実施
(6月29日(日)予定)

7月 家族食堂 2回目実施

↓

将来的(数年後)には、
常設のコミュニティスペースの開設へ！☆



戸山地域での高齢者向けのランチイベント風景 2018年8月

補足資料



このランチイベントで、利用者(高齢者)が
美味しい食事以上に求めていたもの
⇒ 地域住民同士の繋がりや、笑顔！
孤食では得られない温かさ。



一般事業収支予算書

費 目		計 画 額	内 訳
事業費	①使用料及び賃借料	0 円	シニア活動館使用料：無料
	②印刷製本費	18,500 円	チラシ印刷 (A4 片面 カラー) 50円×300枚 = 15,000円 資料印刷 (A4 片面モノクロ) 10円 × 100枚 = 1,000円 (A4 片面カラー) 50円×50枚 = 2,500円
	③消耗品費	147,946 円	【菜園イベント】 ・ 苗：11,958円 ・ 支柱5本束：750円×2セット / 950円×3セット = 4,350円 ・ 花壇ラベル：610円×2セット=1220円 ・ 肥料・土関係：10,070円 ・ 飲料 (熱中症対策の為)：3,000円×3回=9,000円 菜園事業合計：36,598円 【家族食堂】 ・ 食材費：500円/回 × 30名 × 6回 = 90,000円 ・ 調味料 (さしすせそ、油等)：5,000円 ・ 調理備品 (ゴミ袋、ラップ、保存ケース、キッチンペーパー、ウェットティッシュ等)：3,000円 ・ 紙コップ (200個入り)：948円 ・ 紙皿 (仕切り付きプレート 23cm) 100枚：2,480円 ・ 飲料 (ペットボトルのお茶)：330円×24本=7,920円 ・ 救急箱：2,000円 家族食堂事業合計：111,348円
	④委託費	90,000 円	チラシデザイン印刷データ作成費：10,000円/回×9回=90,000円 (苗植え:2回/収穫祭:1回/食堂6:回)
	⑤講師謝礼	160,000 円	講師謝礼 (6月・9月 菜園音楽ワークショップ)：25,000円×2名 × 2日 = 100,000円 料理講師謝礼：10,000円×6日=60,000円
	⑥その他謝礼	130,000 円	ボランティア謝礼 (食堂)：2,000円×5名×6回=60,000円 ボランティア謝礼 (菜園管理)：1,000円/週×35週×2名=70,000円
	⑦交通費	10,000 円	菜園関係の商品購入、移動の為のレンタカー代金：5,000円×2回 = 10,000円
	⑧保険料	18,000 円	参加者イベント保険料 100円 × 30名 × 6回
	⑨その他諸経費	3,200 円	家族食堂のチラシ新聞折込費：4円×800世帯=3,200円
	⑩人件費	0 円	※下記「事業費」の20%以内 (147,946円)
事業費 (①から⑩の合計)		577,646 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		20,000 円	※事業費の5%以内 (28,882円) 寄付金募集ダイレクトメール発送料 200円×100名=20,000円
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		597,646 円	事業費と⑪の経費の合計
⑬助成対象外経費		1,500 円	会報や打ち合わせ資料の印刷費用

事業総額		599,146 円	⑫助成対象経費+⑬助成対象外経費	
内 容		金額(円)	清算根拠(内訳)	
収入区分	⑦ 事業収入 (参加料、資料代等)	94,000 円	【菜園イベント】 大人：200円×20名×2回=8,000円 子ども：100円×15名×2回=3,000円 【収穫祭】 大人：500円×30名=15,000円 子ども：100円×20名=2,000円 【家族食堂】 大人：500円×20名×6回=60,000円 子ども：100円×10名×6回=6,000円	
	① 寄附金	80,000 円	賛同者による寄付金収入 クラウドファンディングによる寄付金収入	
	② 補助金等収入	0 円		
	④ 協働推進基金助成金	398,000 円	※上記⑫の助成対象経費の2/3以内(千円未満切り捨て) (398,000) ※助成金上限額 (500,000)	
	⑤ 団体負担金	27,146 円		
収入総額		599,146 円		

その他

助成金申請額を減額して助成金交付決定をした場合の事業遂行の可否 (☒ 可) 否)

※いずれかに必ず〇をしてください。

えんがわ菜園

…参加ファミリー募集中！…

箱根山のふもとで野菜作りしませんか？
ちょっと見学也大歓迎です！

5月12日(土)

午後3:00～5:00

- ①苗木植え作業
- ②新しい畝づくり
- ③おやつパーティー&キッズコンサート

6月23日(土)

午後3:00～5:40

- ①苗木植え作業
- ②新しい苗木の植え替え作業
- ③おやつパーティー&キッズコンサート

★場所：戸山いつきの杜(戸山ハイツ4号棟)

★参加費：子供：100円、大人：200円

(ドリンク、お菓子付き)

★子供たちは、土いじりや水遊びをするので着替えがあるといいです。作業道具や器具、苗木は用意してあります。

★雨天の場合は中止となります。



「えんがわ家族」プロジェクトとは…

様々な世代の住民が集まってわいわいがやがや楽しめる企画(プログラム)を展開するプロジェクトです。三世代交流を核にして、子育て支援や高齢者の生きがいづくりのお手伝いをします。企画ごとに「この指とまれ！」

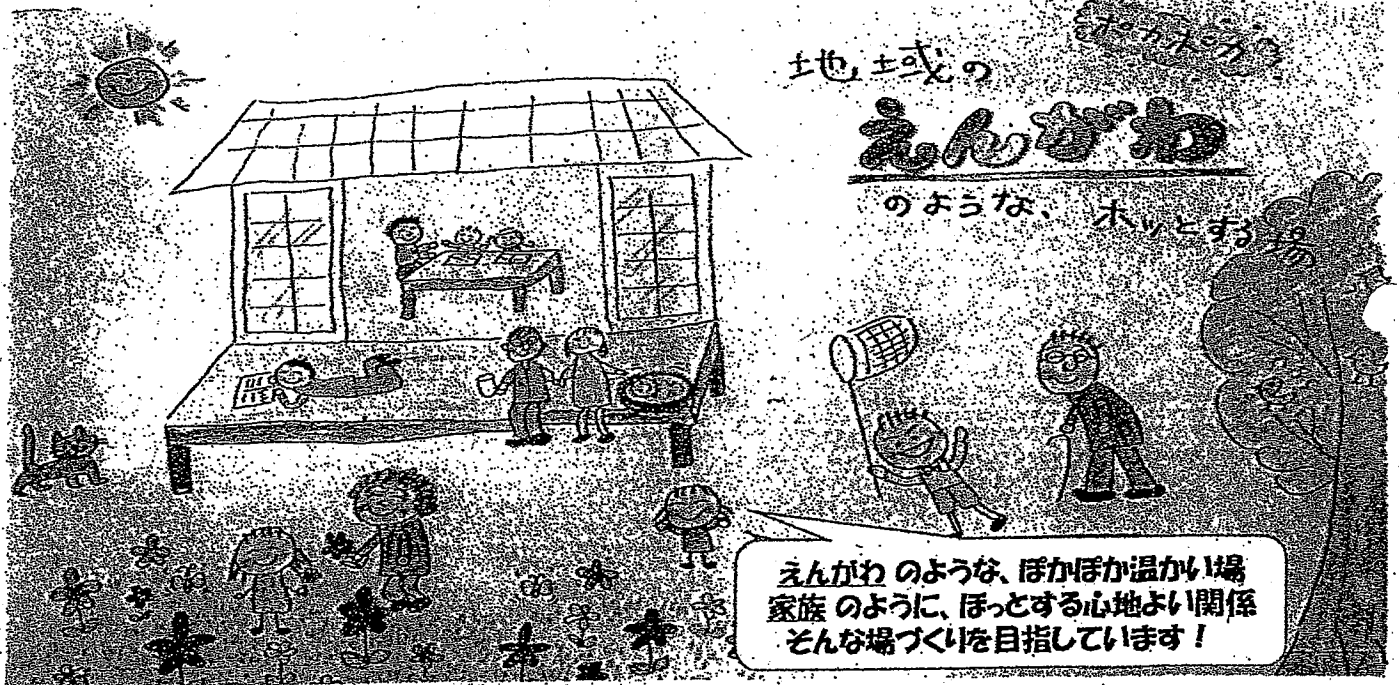
方式で参加者をつのって実施します。「えんがわ菜園」が企画第1弾、他に「ゆかたの着付け教室」や「家族食堂」、「箱根山の鳥や虫や花・自然探検隊」等の企画を準備中です。

「えんがわ家族」

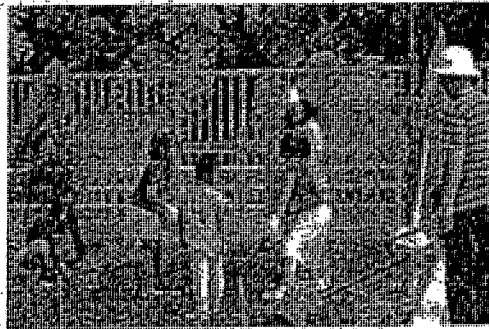
東京都新宿区にて、様々な世代の住民が集まってわいわいがやがや楽しめる企画(プログラム)を展開するプロジェクトです。

三世代交流を核にして、子育て支援や高齢者の生きがいづくりのお手伝いをします。

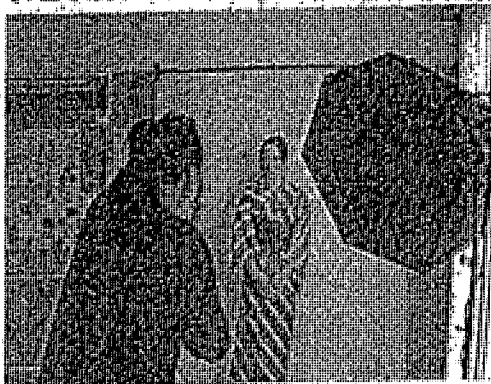
企画ごとに「この指とまれ！」方式で参加者をつのって実施します。



【えんがわ菜園】地域の高齢者施設のお庭を借りて、子どもたちと野菜作りをしています。



【七夕縁日】親子で浴衣着付け体験&フ口に掲げよう家族写真会



2018年4月に発足したばかりの任意団体で、まだ色々試行錯誤中です。今後は、地域の家族食堂や音楽ワークショップなどを企画しています。皆さまとコラボレーション企画など出来たら嬉しいです！



代表：渡辺 萌絵

連絡先：engawakazoku@gmail.com

団体名 (特非) あそびと文化の NPO 新宿子ども劇場
一般事業計画書

事業名	障害者とともに輝く文化体験 ～インクルーシブ・共生社会を目指して～
① 事業目的・概要	オリンピック・パラリンピックが近づき、障害者にスポットが当たる機会が増えてきているが、身近で生活をしている障害者に対する意識や理解は決して高くない。それは障害者との接点の少なさに起因するものが多い。障害を知り、ともに活動をする機会を増やすことで、だれもが安心して生活できる共生社会を目指す。 文化芸術の社会包摂機能をもって、ワークショップなどの創造の場や舞台鑑賞の場を区内の各地で開催し、障害者や子ども、高齢者などあらゆる人が孤立化することなく、地域でつながり、顔の見える関係を広げていく。
② 地域課題・社会的課題	① 国の「障害者 文化芸術推進法」においても、障害者による文化芸術活動の推進は、現在生じている文化芸術活動への参加や創造における物理的・心理的障壁を取り除き、誰もが多様な選択肢を持ち得る社会を構築するためのものであり、文化芸術活動全般の推進や向上に貢献し、我が国に新しい価値の提案をもたらすと同時に、共生社会の実現に寄与することをうたっている。 ② 区政運営の基本方針の一番にも掲げている「暮らしやすさ1番の新宿」でも高齢者について掲げているように障害者がいきいきと暮らし続ける環境の整備は重要な課題であり、障害理解の促進を掲げている。しかし、心無い言葉を障害者に投げかける住民の存在等、障害者を取り巻く地域社会にはまだまだ理解が低い現状や（新宿養護学校の校長談）社会との接点を持ちにくい現状がある（新宿区障害生活者実態調査報告書によると、在宅の障害者の平日日中の過ごし方で、何もしていないが20%で、家事や休職中も含めると40%の障害者が家庭で過ごしていることが分かる。） 障害者が安心して地域に出て充実した時間を過ごすためにも、地域の中で障害への理解者を増やし、ともに生きる社会づくりを目指すことは重要な課題である。 ③ 地域の様々な領域で、多様な主体が円滑に活動できる環境や関係者の連携体制を整備し、地域に新たな活力を生み出し、障害への理解を深め、誰もがお互いを尊重し合う豊かな地域社会を構築することは地域課題である。 ④ 地域の中で、障害者と接する機会が少ないことから、障害者を特別視する傾向がある。子どもの生活圏において、特別支援学級を有する新宿区立小学校は29校中5校で、新宿区立中学校は10校中3校であり、支援学級のない学校に通う子どもたちは日常生活の中で障害者と触れ合う機会が少ない。日常生活の中で、出会う機会を増やすことは、お互いの理解を深めることにつながることから、多様な形態で、参加しやすい機会を多数設けることは課題である。 ⑤ 環境や受け入れ態勢への不安から、文化体験の場へ参加するのに躊躇する障害者が多い。（平成30年度実施の講演会の中で、新

	誰もが同じように文化を享受できるよう、地域における鑑賞機会の創出、障害特性に応じた利用しやすい環境整備の推進・適切な対応ができる人材の育成は重要な課題である。 ⑥ 身体的、環境的な障害から、自ら文化体験の場へ出向くことが困難な子どもたちにも文化を享受する機会として、・創造活動の場の創出・確保・多様な創造活動の場における環境・内容の充実・創造活動の場と障害者をつなぐ人材の育成は社会課題である。	
③過去にこの助成を受けた実績	助成年度(23年)事業名(「ダルレのはなし」楽しみたい・学びたい・触れたい韓国) 助成年度(25年～27年)事業名(文化で地域づくり アートの花を(新宿フィールドミュージアム)) 助成年度(30年)事業名(日本の文化でノーマライゼーション)	
④この事業に対する他の助成の有無(申請中のものを含む。)	有 ☐ 無 ☒	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): 助成額: 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。
⑤活動内容	ア イベント(会議)の開催予定 ●ワークショップ事業(2事業) (1) 知的障害疑似体験ワークショップ “新宿区手をつなぐ親の会”に依頼し、知的障害・自閉症・ダウン症・発達障害等の障害特性を、わが身に置き換えて体験することで、理解を深める。 実施時期: 6月～7月を予定 対象: 小学生以上の親子と大人。 参加費: 無料 会場: 区内地域センター 講師: 新宿区手をつなぐ親の会 “Winds” 対象課題: ②、③、④ (2) Tシャツ制作ワークショップ 障害を抱える方と一緒に自分だけのTシャツづくりに挑戦。 出来上がったTシャツを着て、11月の公演「サファリパーク Duo」のコンサートに参加する。 実施時期: 9月 対象: 区内小学生・大人 20名 参加費: 500円(材料費) 会場: シヤロームみなみ風、区内地域センター、もしくは西新宿小学校 対象課題: ①、②、③、④、⑤ ●公演事業(3事業)	

区内 3 地域で実施することで、生活圏に密着し、障害者も参加しやすい文化体験の場を作る。公演プログラムや環境も障害者に配慮した内容とする。

同じ地域で生活をする人が集い、文化体験を共有することを目指し、障害者及び、18 歳以下の子どもと 75 歳以上の高齢者は無料で招待をして顔のつながる関係づくりをする。

対象課題：①、②、③、④、⑤

参加費：障害者・18 歳以下の子ども・75 歳以上の高齢者無料
上記以外の大人：1000 円/各公演

(1) 西新宿地域

公演内容：サファリパーク Duo コンサート

知的障害の姉（20 歳）と弟（高校生）のジャズバンド。

地域の小学生とのコラボレーションを企画中

実施時期：10 月～11 月

会場：西新宿小学校

対象：乳幼児～大人・高齢者

(2) 落合地域

公演内容：くつろぎんコンサート

オペラシアターこんにゃく座のメンバー 2 人によるユニット。

実施時期：10 月～11 月

会場：聖母ホーム、または落合第一地域センター

対象：乳幼児～大人・高齢者

(3) 四谷地域

公演内容：アンディ先生のマジック教室

実施時期：10 月～11 月

会場：四谷第六小学校または花園小学校

対象：乳幼児～大人・高齢者

●ホール作品公演事業

世界で活躍するジャグリングユニット・空転軌道のステージは、障害の有無や年齢を超えて楽しめる作品になっている。新宿区内で一番バリアフリーの条件が整っている牛込筆筒区民ホールを平土間で使用し、障害者と健常者がともに楽しむ空間を作る。

そのために

- ・障害者の方と介助者の方を 30 組 60 名招待する。
- ・福祉事業所シャロームみなみ風の中の就労継続 B 型事業所“おんぶらーじゅ”による販売コーナーを設ける。

公演内容：「音と空間のジャグリング」空転軌道

実施時期：2020 年 1 月 19 日（日）予定

会場：新宿区立牛込筆筒区民ホール希望

対象：幼児～大人 一般：2500 円

対象課題：①、②、③、④、⑤

	●アウトリーチ事業（2か所・各2回） いろいろな障害から、文化体験の場へ出向くことが困難な子どもたちに文化体験を届ける。 二葉乳児院にはわらべ歌を、わかまつ学級には現場の要求に沿った講師をコーディネートする。 対象：二葉乳児院（新宿区南元町4） 院内学級・余丁町小学校わかまつ学級（東京女子医大病院） 実施時期：7月～2月 対象課題：①、②、③、⑤、⑥ ●委員会（6回） 事業の企画、運営方法を決定し、それぞれの進捗状況を確認する。 委員会の構成は、各地域から推薦された新宿子ども劇場の会員が中心。委員会の内容を地域の区民へ啓蒙するよう努める。 実施日：6/15・9/14・10/12・12/14・1/11・2/8 参加予定人数：15名 会場：ゆったり～の 対象課題：①、②、③、④、⑤、⑥ イ 広報活動 ・ワークショップ・公演ごとにチラシを作製・HPやfacebookに掲載 ・町会の掲示板に掲示 主なチラシ配布先 区立小学校・幼稚園・子ども園・保育園・児童館・図書館・地域センター・高齢者総合相談センター・地域交流館・保健所・他区内公共施設・新宿区障害者センター 新宿手をつなぐ親の会・ぽけっとの会・家族会他 置きチラシ（交換便にて配布）166か所 ・出張所10か所・地域センター10か所・図書館9か所 ・小学校29校・幼稚園14園・子ども園12園・保育園12園 ・子ども総合センター、支援センター5か所・児童館15か所 ・歴史博物館・文化センター・区民ホール3か所 ・スポーツセンター4か所・保健センター5か所・生涯学習館5館 ・高齢者総合相談センター10か所・シニア館、地域交流館20か所 ・新宿区障害者センター
⑥実行体制 （人員体制・安全対策）	ア スタッフ等人数 当法人理事及び在勤者13名 ワークショップ3名×2回＋団体構成員 公演スタッフ5名×3か所（西新宿・落合・四谷）＋ ホール公演スタッフ8名＋団体構成員 アウトリーチ コーディネーター＋スタッフ3名

	イ 安全対策 年間を通した保険（傷害保険及び賠償責任保険）に加入済み。 （NPO 活動総合保険、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社） 救急用品は常備し、各事業に責任者を設け不測の事態に備える。 参加者には体調管理をお願いする。 会場・アクセス方法等の確認を密に行い、安心して参加できる環境づくりを心掛ける。 障害者の参加者には、事前に配慮すべき点の確認を行い、対処する。
⑦期待される成果	ア 区民や地域社会への成果・効果 課題①、② ・「知的障害疑似体験ワークショップ」では親子での参加を募り、障害の抱える困難をともに理解することができる。また、PTA やスクールコーディネーターの方にも参加を呼びかけ、学校での実施も視野に入れる。 課題①、②、③、④、⑤ ・障害者との事業を区内各所で複数回行うことで、障害者の参加の機会を増やし、健常者も障害者とともに過ごす時間を増やすことができる。そのことが相互理解につながる。 ・主催者側は、それぞれの障害に配慮をした環境づくりに努め、障害を持った人が参加しやすい事業を行う。障害者が参加しやすい文化体験の場を増やすことで、障害者が積極的に参加する意欲を高めることができる。また、障害者への配慮が行き届く地域社会を目指す。 課題⑥ ・新宿区内にある乳児院や院内学級へのコンタクトを通して、その存在と課題を共有することができる。 ・それぞれの状況に応じた文化体験をコーディネートすることで自ら出向くことが出来ない子どもたちに文化体験の場を提供することができる。 イ 現状や課題に対する成果・効果 課題①、②、③ ・障害理解の促進は行政でも行っているが、関心の高い人の参加が多く、広く地域住民の参加を呼びこむことには困難がある。そこを地域住民主体の NPO が働きかけることにより、日ごろ出会う機会の少ない住民にも問題提起をすることができる。 お互いを理解し、困っているときの手の差し出し方を知ることで共生社会の構築につながる。 課題①、②、③、④、⑤、⑥ 障害者が文化に触れる機会を増やすことにつながる。また、障害者の文化体験の重要性と配慮すべき点を理解する人を増やすことができる。

⑧ 先駆性・専門性	子どもに向けたワークショップや公演の実施には実績が大きい。 また、PTA、スクールコーディネーター、民生委員、地区協議会委員など地域に密着した活動をしている者も多く、体感している地域の実情や課題を事業に反映することができる。 子ども文化地域コーディネーターの有資格者も多く、文化活動や社会事情についての研鑽も積んでおり、より有効な事業を展開することができる。
⑨ 事業の今後の展望	子どもたちが安心していきいきと生活できる地域社会づくりを考えるにあたり、障害者問題も重要な項目であり、今後も視野に入れた事業を展開していく。 障害者団体との連携も図りながら、お互いの活動を尊重しあい生かしあえる関係を築いていくことは重要と考える。 具体例：シャロームみなみ風にある“おんぶらーじゅ”の販売をロビーで展開する。など。 それらの活動を通して、住民発信型の障害理解の促進につながることを目指していきたい。 また、障害者や社会的弱者である人にも豊かな文化体験の場を提供できるよう、主旨に賛同した財政面での支援者の拡大にも継続して取り組んでいく。(サポーター・スポンサーの拡大) 継続した活動を通して、行政はじめ地域社会への問題提起も続けていく。

一般事業収支予算書

費目		予算額	内 訳
事業費	①使用料及び賃借料	129,000 円	落合第一地域センター 10000 円 疑似体験・TシャツWS会場 5000 円×2回=10000 円 牛込算筈区民ホール会場費・付帯設備費 100000 円 委員会会場費 1500 円×6 回=9000 円
	②印刷製本費	98,500 円	疑似体験・TシャツWSチラシ 1.5 円×4000 枚=6000 円 西新宿・落合・四谷公演チラシ 1.5 円×10000 枚×3 か所=45000 円 ホール公演チラシ 1.5 円×15000 枚=22500 円 チケット・4 公演 3 円×1000 枚×4 公演=12000 円 当日プログラム 10 円×250 枚×4 か所=10000 円 資料印刷 3000 円
	③消耗品費	50,000 円	コピー用紙 3000 円、封筒 5000 円、ラベル 2000 円 ラミネートシート 4000 円、養生テープ 30 巻 6000 円、マジック・文具 5000 円、プリンターインク 10000 円、布用インク 5000 円 筆・シルクシート 5000 円、ブルーシート 5000 円
	④委託費	0 円	
	⑤講師謝礼	810,000 円	知的障害 WS30000 円、TシャツWS 20000 円 西新宿・落合・四谷公演 150000 円×3回=450000 円 ホール公演 200000 円 アウトリーチ・わらべ歌 20000 円×2 回=40000 円 アウトリーチ・院内学級 35000 円×2 回=70000 円
	⑥その他謝礼	148,000 円	疑似体験・TシャツWSスタッフ 3000 円×3 名×2 回=18000 円 西新宿・落合・四谷公演 3000 円×5 名×3 か所=45000 円 ホール公演スタッフ 3000 円×8 名=24000 円 アウトリーチ・わらべ歌 3000 円×3 名×2 回=18000 円 アウトリーチ・院内学級 3000 円×3 名×2 回=18000 円 チラシ制作 5000 円×5 名=25000 円
	⑦交通費	22,500 円	ホール公演運搬費 10000 円 駐車場代 2500 円×5 台=12500 円
	⑧保険料	0 円	年間通した保険に加入済み(NPO 活動保険)
	⑨その他諸経費	33,400 円	チラシ郵送代 240 円×50 通=12000 円 チケット郵送代 84 円×50 通×4 回=16800 円 資料郵送代 92 円×50 通=4600 円
	⑩人件費	192,000 円	団体構成員 1000 円×3 時間×16 日×4 名
事業費 (①から⑩の合計)		1,483,400 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		40,800 円	ダイレクトメール 92 円×100 件×4 回=36800 円 サポーター募集チラシ 2 円×2000 枚=4000 円
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		1,524,200 円	
⑬助成対象外経費		40,000 円	キャスト昼食・小夜食 1000 円×5 人×5 回=25000 円 茶菓 5000 円、Tシャツ500円×20 枚=10000 円
事業総額		1,564,200 円	
内 容		予算額	積算根拠 (内訳)
収入区分	㊦事業収入 (参加費、資料代等)	255,000 円	TシャツWS 500 円×20 人=10000 円 西新宿・落合・四谷公演 1000 円×40 名×3 公演=120000 円 ホール公演 2500 円×50 名=125000 円
	㊧寄附金	170,000 円	サポーター 一口 1000 円×150 口 スポンサー20000 円
	㊨補助金収入	0 円	
	㊩協働推進基金助成金	500,000 円	
	㊪団体負担金	639,200 円	会員参加費含む
収入総額		1,564,200 円	

助成金申請額を減額して助成金交付決定をした場合の事業遂行の可否 (㊦ 否)

新宿区長 宛て

団体名(特非) あそびと文化のNPO

新宿子ども劇場

所在地 新宿区四谷2-10-802

(フリガナ) リジチョウ ノリマツヨシミ

代表者氏名 理事長 乗松好美

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収支計算額

収 入	954,174	円
(内助成金)	500,000	円
支 出	954,174	円

2 助成事業

事業名	日本の芸能でノーマライゼーション
実施の日時又は期間	2018年5月30日(水)～2019年2月16日(土)
対象者の範囲及び人数	・委員会 全6回 新宿子ども劇場の会員延べ96名(うち区民90名) ●ワークショップ事業 延べ127名(うち区民110名) (1) 太鼓でコミュニケーション (2) 新宿養護学校アウトリーチ (3) 子ども落語ワークショップ ●講演会事業 延べ101名(うち区民95名) (1) 講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」 (2) 落語発表会 発表者 ●公演事業 延べ539名(うち区民492名) (1) 落合公演「おはなしポロロン」9/30 聖母ホーム (2) 荒馬座公演「お祭りどんどん」10/27 愛日小学校 (3) 「桂宮治の子ども落語・落語会」11/18 東戸山小学校 事業総人数：参加者863名、講師・スタッフ延べ42名、事務局延べ41名 *各事業の内訳については別紙参照
事業内容	あらゆる人が共生できる地域を目指して、文化活動を通して地域をつなげることを目的とし、以下の事業を行った。 【1】ワークショップ事業 ①太鼓でコミュニケーション ②新宿養護学校アウトリーチ

	③子ども落語ワークショップ 【2】講演事業 ①講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」 ②子ども落語発表会 【3】公演事業 ①「おはなしポロロン～絵本ライブにほんのうた～」 ②「お祭りどんどん」 ③「桂宮治の子ども落語」 公演事業に関しては広くサポーターを募集し、広く事業に共感、協力をしてくれる区民を募った。 事業期間中継続して委員会を開催して、事業の精査を図った。
具体的な活動状況	●委員会 全6回 事業内容：事業の企画、運営方法の決定、進捗状況の確認、成果と課題の確認。 ・大きな成果として、講演会を通して、障がい者の持つ困難さを具体的に知ることが出来たことを共有。鑑賞会に参加するハードルの高さを知り、私たちが準備できることは何かを検討した。 委員会を通して、事業の目的への共感を高め、普及、啓蒙に努めた。 ●ワークショップ事業 ・「太鼓でコミュニケーション」 事業内容：和太鼓を介して、多世代のコミュニケーションを深めた。 ・「新宿養護学校アウトリーチ」 事業内容：和太鼓を8台用意し、小学部の子どもたちに和太鼓体験の場を提供した。まずは、太鼓を触ることから始め、実際に叩いてみることで、音の響きを体全身で感じる。講師によるデモンストレーションの時間も設け、プロの実演を体感した。 ・「子ども落語ワークショップ」 事業内容：落語の小唄に挑戦することを通して、落語に親しみ、表現する面白さを体験する。 簡単なパントマイムの体験から始まり、顔の向きや、手ぬぐいの使い方など、話だけでいろいろなものを表現したり、一人で複数の人を表現する落語の基本を体験した。 ●講演会事業 ・講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」 事業内容：文化というツールを通して、子ども、高齢者、障がい者、子育て中の若い世代など、あらゆる人が同じ地域で、区別されることなく共生する社会を目指して、違いを知り、お互いを尊重するために取り組むことをテーマにパネルディスカッションを行った。 パネラー ・寺島 京子（新宿養護学校校長） ・立原麻里子（新宿区手をつなぐ親の会副会長） ・志村 泰子（笹竹町地区民生委員・児童委員協議会会長） ・松島貴美子（あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場副理事長 四谷第六小学校スクールコーディネーター） コーディネーター

	・乗松 好美（あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場理事長 戸山小学校スクールコーディネーター） ・落語発表会 事業内容：ワークショップ事業の子ども落語に参加した子どもの中で、希望した8名で発表の場を設けた。 観客は幼児から大人まで幅広く、落語発表者の頑張りを観客側もともに楽しみ、温かく見守った。 ●公演事業 区内3か所で実施。3公演共通で、18歳以下の子どもと75歳以上の高齢者は無料、大人1000円という参加しやすい条件設定で実施した。 ・「おはなしボロロン〜絵本ライブにほんのうた〜」 事業内容：杉原徹とかずまによるユニット“てつかず”による歌と語りのコンサート。聖母ホームの入居者も含め、幅広い年代で楽しめるプログラムになっていた。 杉原氏は新宿区落合在住。 ・「お祭りどんどん」荒馬座 事業内容：民族歌舞団荒馬座による和太鼓と獅子舞の公演。 小学生の小獅子隊を募集して客席を回った。 後半は和太鼓体験コーナーを設け、鑑賞だけではなく、実際に和太鼓を叩いてみた。 ・「桂宮治の子ども落語」 事業内容：11時は「落語入門」14時は「本格落語」として実施。 海城学園古典芸能部が前座をつとめた。 東戸山小学校のPTAとも連携し、児童たちによる“ひがとカフェ”を同時開催したことで、公演の前後にカフェでお茶を楽しむ参加者が多かった。 また、ひがとカフェで活躍していた子どもたちも、公演時間は落語を見に来ていた。
事業の成果	これまで子どもと高齢者を繋ぐ活動は行ってきたが、今回の事業でノーマライゼーションをテーマに、障がい者に意識しフォーカスした講演会やアウトリーチ事業が実施できたことで、新宿で生活をしている障がい者へ思いを馳せることが出来るようになったことはとても大きな成果と言える。まずは理解し、共生への働きかけの一步を踏み出すことが出来た。 事業全体の参加者863名のうち9割以上が新宿区民であり、アンケートの満足度もほぼすべての事業においてとても満足・満足が8割を超えていることから、全体として新宿区民に対し大きな成果があったと考える。 ○「太鼓でコミュニケーション」 日本の伝統芸能である和太鼓を十分に体験することが出来た。 親子や祖父と孫と一緒に和太鼓の体験を通して、 新たなコミュニケーションを築いていた。

○「新宿養護学校アウトリーチ」

重い障害を抱えている児童が多いことから、普段、健常者と同じようには芸術に触れる機会が持てない。プロの芸術家を学校という場に届けることで触れる機会を持てたことは大きい。

ワークショップの時間を通して、生き生きと和太鼓に触れ、楽しむ姿が見られた。参加者の中には、酸素濃度が上がるなど身体的状況が向上する児童もあり、和太鼓体験が子どもたちにもたらした効果は大きかった。

○「子ども落語ワークショップ」

講師である桂宮治氏から子どもたち一人一人にあったワークショップを受けたことで、子どもたちはそれぞれ自分の課題を見つけ、取り組むことが出来た。

ワークショップ受講者が全員、事前に行われた「子ども落語」を鑑賞した。意欲が高まり、より一層落語を身近に感じ受講することが出来た。

○講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」

各分野で活動しているパネラーの話を通して、各団体の活動を知ることが出来た。それぞれの存在は知っていても、実情に触れる機会がなかった参加者同士が、パネルディスカッションという形で実施することで、立場を超えてお互いを知る機会になった。

その中でも、まだまだ障害者に対する理解や配慮が低いこと、もっと当たり前で共生できる社会の実現が課題であることなどが明らかとなった。お互いのフィールドを活用しながら取り組む方策案もでて、今後の発展が期待できる。

○「落語発表会」

発表した子どもたちは自宅でも練習を重ね、多くの人の前で発表することで、自信につながり、より落語を楽しむことが出来た。

観客側も、幅広い年代が集まり、子どもの落語を楽しむことが出来た。

○公演事業 3公演

小学校等、身近な会場で実施することで、地域の人が気軽に参加しやすい環境を作ることが出来る。参加者の9割は近隣住民で、公演事業を通して、顔の見える関係を深めることが出来た。

サポーターとして、事業を支える人の輪も定着をみせてきている。さらなる広がりを作っていくことは今後の課題として残る。

一般事業収支決算書

支 出 区 分	費 目	決算額	内 訳
	①使用料及び賃借料	21,100 円	講演会会場費 2,700 円・落語ワークショップ会場費 1,800 円 落語発表会会場費 7,600 円・委員会会場費 6 回分9000円
	②印刷製本費	36,841 円	講演会チラシ 5,840 円 おはなしポロロン 4,806 円 お祭りどんどん 11,050 円 落語 11,315 円 資料等 3830 円
	③消耗品費	29,996 円	養生 2265 円、用紙 363 円 インク 15334 円 ティッシュ 306 円 封筒・ラベル 2143 円ノート 346 円 ポリ袋 2127 円 シート 7112 円
	④委託費	0 円	
	⑤講師謝礼	370,000 円	講演会 20,000 円 ポロロン 80,000 円 お祭りどんどん 100,000 円 子ども落語 100,000 円 落語ワークショップ 30,000 円、落語発表 5,000 円、 アウトリーチ 35,000 円
	⑥その他謝礼	95,000 円	チラシ制作費 5000 円×4 回 講演会スタッフ 3000 円×3 名 おはなしポロロンスタッフ 3000 円×3 名 お祭りどんどんスタッフ 3000 円×3 名 子ども落語 3000 円×6 名 落語ワークショップ 3000 円×3 名 発表会 3000 円×3 アウトリーチスタッフ 3000 円×4 名
	⑦交通費	0 円	講師謝礼に含む
	⑧保険料	0 円	
	⑨その他諸経費	19781 円	チラシ・資料・チケット送 17708 円 著作権料 2073 円
収 入 区 分	⑩人件費	132,000 円	1000 円×3 時間×8 日+1000 円×4 時間×4 日+1000 円×8 時間 (1000 円×3 時間×8 日+1000 円×4 時間×3 日+1000 円×6 時間) ×2 人
	事業費 (①から⑩の合計)	704,718 円	
	⑪ファンドレイジングに関する経費	28,721 円	サポーターチラシ 6200 円 送料 22201 円コピー代 320 円
	助成対象経費 (事業費+⑪)	733,439 円	
	余剰金 (A)	12,000 円	
	助成対象外経費	208735 円	太鼓でコミュニケーション 138,689 円 お茶・昼食代 15,102 円 プレゼント他 12,044 円 マット 17,900 円 団体構成員謝金 25000
	事業総額	954,174 円	
	内 容	決算額	内 訳
	①事業収入 (参加費、資料代等)	194,000 円	公演チケット 1000 円×194
	②その他の収入	46,000 円	サポーター収入 一口 1000 円×46 口
余 剰 金 (B)	③助成金交付額	500,000 円	
	④団体負担金	214,174 円	会員参加費 子ども夢基金 100,081 円
	収入総額	954,174 円	
余 剰 金 (B)		0 円	

返 還 金	12,000 円
-------	----------

一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

評価のポイント	自己評価
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	荒馬座公演と講演会と新宿養護学校へのアウトリーチの日程が予定とはずれたが、事業は計画通りに実施できた。 委員会に関しては申請時は5回の予定であったが、新宿養護学校へのアウトリーチが学校側の希望から実施日程が1月に変更になったことから、まとめの委員会を追加で実施した。
実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。	どの事業も、謝金対象スタッフのほかにボランティアスタッフも携わり、滞りなく実施できた。 安全面においても、事前の打ち合わせを綿密に行い、会場に対する人数も適正で安全面の確保は十分であった。
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	各事業の前後に委員会を設け、事業主旨と内容を精査し、委員や広報誌を通して広く区民の啓発も行ったことから、ノーマライゼーションへの理解が深まった。
地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。	課題①～④ 参加しやすい料金設定で、新宿区内の各地で実施したことにより、子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があり、文化体験を通して顔が見える関係に近づけることが出来た。 課題②、⑤ 障がい者との共生に関しては、講演会を通しての気づきが大きく、共生に向けての環境整備等、継続して取り組むべき課題が明確になってきた。障がい者や子ども、高齢者といった社会的弱者が安心して参加できる文化体験の場を作ることの重要性の理解が深まった。 課題①～⑤ 今後も、障がいの有無やあらゆる年代の人が集う文化活動を継続していくことで、お互いを知り、理解し合える関係が地域に築かれることが見込まれる。
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	各事業で日頃より培ったコーディネーターとしてのスキルを活かし、参加した人たちがより良い体験を出来る環境を整備することが出来た。また、日常に活動しているフィールドを活用して、多世代の人に事業を紹介することが出来た。 子ども・高齢者・障がい者・若者など同じ地域で生活するすべての人を視野に入れ、共生社会を目指し、身近な地域で文化活動を展開するという当法人の役割を再確認した。
経費見積りは適正だったか。	適正だった。 ほぼ予算に沿って実施できた。

(今回の事業を次年度以降も継続していく場合) 継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。	事業の目指している姿は、今後も継続していくべき事業であること、さらに発展させていくべき事業であることを認識している。 しかし財政面に関しては、支援してくれるサポーターを募集し、資金確保に努めたのだが、毎年、寄付を集める事はハードルが高い。継続して協力を得られるような方策を検討していきたい。
事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。	障がい者を受け入れる体制が取り切れなかったことから、障がい者の事業への参加が少なかったことは大きな課題として残る。 今後も障がい者などハンディを抱えた方への配慮をアピールする事業を継続することで、よりよい共生社会を目指すことが出来ると考える。

その他

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

事業名：日本の芸能でノーマライゼーション

実施期間：2018年5月30日（水）～2019年2月16日（土）

委員会	実施日：①6/16 ②7/14 ③9/15 ④10/13 ⑤11/24 ⑥2/16（全6回） 会場：ゆったりへの 参加人数：新宿こども劇場の会員のべ96名（うち区民90名）事務局3名×6回
ワークショップ事業 のべ127名 （うち区民110名）	（1）太鼓でコミュニケーション 実施日：①6/24 ②7/1（全2回） 会場：新宿区立愛日小学校 参加人数：①34名 ②32名 講師・スタッフ①4名 ②4名・事務局①2名 ②2名（参加者全員区民） 講師：露木一博氏（東京打撃団所属） アンケート結果（満足度）：①大変満足78% ②満足10% ③未記入12% アンケート回収枚数32枚
	（2）新宿養護学校アウトリーチ 実施日：1/18 会場：新宿養護学校 小学部 参加人数：児童22名・教師15名 講師1名・スタッフ4名・事務局3名 講師：露木一博氏（東京打撃団所属） アンケート結果（満足度）：①大変満足100%（教師へ向けてのアンケート） アンケート回収枚数8枚
	（3）子ども落語ワークショップ 実施日：12/2 会場：大久保地域センター 和室 参加人数：子ども12名・保護者12名（うち区民22名・区外2名） 講師1名・スタッフ3名・事務局3名 講師：桂宮治（落語芸術協会所属） アンケート結果（満足度）：①大変満足84% ②満足8% ③普通8% 聞き取り件数12件

講演会事業 のべ101名 (うち区民95名)	(1) 講演会「暮らしあうまち、お互いさまの地域づくり」 実施日：9/23 会場：若松地域センター 第2集会室 参加人数：15名・パネラー4名・コーディネーター1名・スタッフ5名・事務局2名（全員区民） アンケート結果（満足度）：①大変満足64% ②満足18% ③未記入18% 回収枚数11枚
	(2) 落語発表会 実施日：12/16 会場：ゆったり〜のひろば 参加人数：発表者8名・観客73名（うち区民75名・区外6名）スタッフ3名・事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足75% ②満足25% 聞き取り件数8件
公演事業 のべ539名 (うち区民492名)	(1) 「おはなしポロロン〜絵本ライブにほんのうた〜」 実施日：9/30 会場：聖母ホーム 参加人数：132名（子ども40名・高齢者33名・障がい者1名）（うち区民112名・区外20名）スタッフ7名・事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足64% ②満足9% ③未記入27% 回収枚数11枚
	(2) 「お祭りどんどん」 実施日：10/27 会場：新宿区立愛日小学校 アリーナ 参加人数：71名（子ども26名・高齢者2名）（うち区民69名・区外2名）スタッフ6名・事務局2名 アンケート結果（満足度）：①大変満足77% ②未記入23% 回収枚数13枚
	(3) 「桂宮治の子ども落語」 実施日：11/18 ①11時 ②14時（全2回） 会場：新宿区立東戸山小学校 東戸山ホール 参加人数：336名（子ども150名・高齢者17名・障がい者2名）（うち区民311名・区外25名）スタッフ8名・事務局3名 アンケート結果（満足度）：①大変満足85% ②満足2% ③普通1% ④未記入12% 回収枚数60枚

●ワークショップ事業

6/24・7/1「太鼓でコミュニケーション：愛日小学校



1/18「新宿養護学校アウトリーチ」



12/2「子ども落語ワークショップ」



●講演会事業

9/23「暮らしあうまち お互いさまの地域づくり」若松地域センター



12/16「子ども落語発表会」



●公演事業

9/30 「おはなしポロロン〜絵本ライブにほんのうた〜」 聖母ホーム



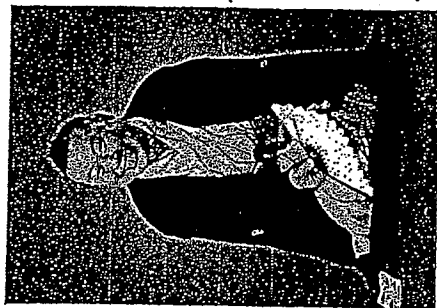
10/27 「おまつりどんどん」 愛日小学校



11/18 「桂宮治の子ども落語」



はじめての落語体験



はじめの方でも気軽に、本格的に、落語のおけいこを体験できる。ちよつとどきどき、まずは、はなしかたしぐさから。

日時：2018年12月2日【日】

(午後1時30分から3時)

場所：大久保地域センター和室

(新宿区大久保2丁目12番7号)

募集人数：小学生以上先着20名

(幼児の場合保護者と離れられれば可能)

参加費：500円(保険料含む)

持ち物：飲み物。(あれば、手ぬぐい・ゆかた)

講師：桂 宮治 さん

*希望者3人は、12月16日ゆつたり〜のお披露目できます。



申し込み先 (特非) あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
TEL&FAX 03-5261-8696
shinjukukokorogekijo@mbr.nifty.com

平成30年度新宿区協働推進基金助成事業

氏名：	学年・年齢	学校名
住所		
☐	メール	

講演会

喜びしうやまち。お互いさまの地域づくり

文化を通じ誰もが共生できる社会をめざして

9月23日
13:30~15:00

若松地域セン
第2集会室
(新宿区若松町12-6)



◎パネラー

寺島 京子氏 新宿養護学校校長
立原麻里子氏 新宿手をつなぐ親の会副会長
志村 泰子氏 牛込地区民生委員・児童委員協議会
松島 貴美子 (特非)あそびと文化のNPO新宿子ども劇場
・四谷第六小学校スクールコーディネーター
共生

◎コーディネーター

兼松 好美 (特非)あそびと文化のNPO新宿子ども劇場
・戸山小学校スクールコーディネーター

<参加無料> 定員:30人

<主催・お問合せ>

(特非) NPO法人 あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
〒162-0853 東京都新宿区北山伏町2-17
TEL・FAX 03-5261-8696
MAIL:shinjukukokorogekijo@mbr.nifty.com

◎お申込は
新宿子ども劇場
お申込フォームより。
またはFAXにてどうぞ。



平成30年度新宿区協働推進基金助成事業

2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526

日時 10月27日 土 14:00開
(開場 13:40)

会場 新宿区立愛日小学校 愛日ホール
新宿区北町26

●お車・自転車・バイク・自転車での来場下さい。

獅子舞

10L 金株

子ども(18歳以上) 75歳以上

75歲以上

●小学生、先着6名まで小獅子体験できます!!!
ご希望の方はチケットお申し込み時にお知らせく

さ〜きたよきたよ!
子どもも大人も一緒にな・
心踊らせお祭りだんど、
楽しもう!!

和太鼓体験

対象 全年齢
定員 150名

荒馬鹿は東京の板橋生まれ。民族芸能には自然と共に生きてきた人々の生きを知る恵や愛憎、エネルギーがたくさん込められています。太鼓や囃りでたくさんの人たちと手をつなぎ、明日の力となる文化をつくりたいと願い、元氣いっぱい活動しています。

※事前申し込み必要・小学生以下は保護者と一緒にご来場ください

●お問い合わせ・お申し込み●

(特非) あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場
Tel/FAX 03-5261-8696 Mail: shinjukukodomogekijo@mbr.nifty.com

あひだ




















14:00 ~ (開場 13:45)

会場：聖母木一△(中落合2-5-2)

对象：全年齡

姓名: 80名

『杉原徹-TETSU-』
1961年生 名古屋生まれ
大阪育ち新宿在住

明大演劇・文学座・
ナインメン、
ラジオパッサリティーズ、
唄と語りとパフォーマン
スの世界で旅を続ける。

料金1000円

子とむ(18) 黄米歳

75 卷ノ上 無殺

×事前申し込み必要
小学生以下は保護者と一着に衣替え下さい。

● 在区區申訴 ● 千叮萬囑 ●

(是非) あらひと文化のNPO新富予ども劇場

Tel/Fax: 03-5261-8696

Mail: shikuiukooomogekjoo@me.com



落語入門

子どもも大人も大笑い
落語をいろいろはから

推奨年齢：幼児から

開演 11:00

(開場10:45)

午前

みんなで大笑い!

親子3代で楽しむ落語の世界

2018年 11月18日(日)

午前部 午後部 各150名 定員150名

無料

大人数1000円以上で参加費1500円

会場：新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

新宿区立東戸山小学校 東戸山本校

午後

本格落語

子どもも大人も楽しむ
本格落語の醍醐味

推奨年齢：小学生以上

開演 14:00

(開場13:45)

2018年12月2日

落語本舗

～新宿区協働推進基金～

区民の方・事業者の皆さんからのご寄附を基金として積み立て、NPO等の非営利の団体が行う区民のための社会貢献活動に助成を行っています（本助成もこの基金から助成を行っています）。活動を支援するためにご寄附の受付を行っています。基金へのご寄附は税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます（詳しくは、管轄の税務署・お住いの区市町村の税務担当課にお問い合わせください）。

ご寄附をいただける方は地域コミュニティ課管理係（5273）3872までお問い合わせください（寄附金を直接、地域コミュニティ課管理係・お近くの特別出張所窓口にお持ちいただくこともできます）。

社会貢献活動のご興味があってもなかなか時間がとれず、参加ができない方等にも基金を通じて社会貢献ができる制度です。是非お気軽にお問い合わせください。

NPO等の専門性や柔軟性、力を活かした事業に助成し、区民の皆さまが暮らしやすいまちづくりを目指します！



新宿区地域振興部地域コミュニティ課
管理係

TEL: 03-5273-3872 FAX: 03-3209-7455

URL: <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>